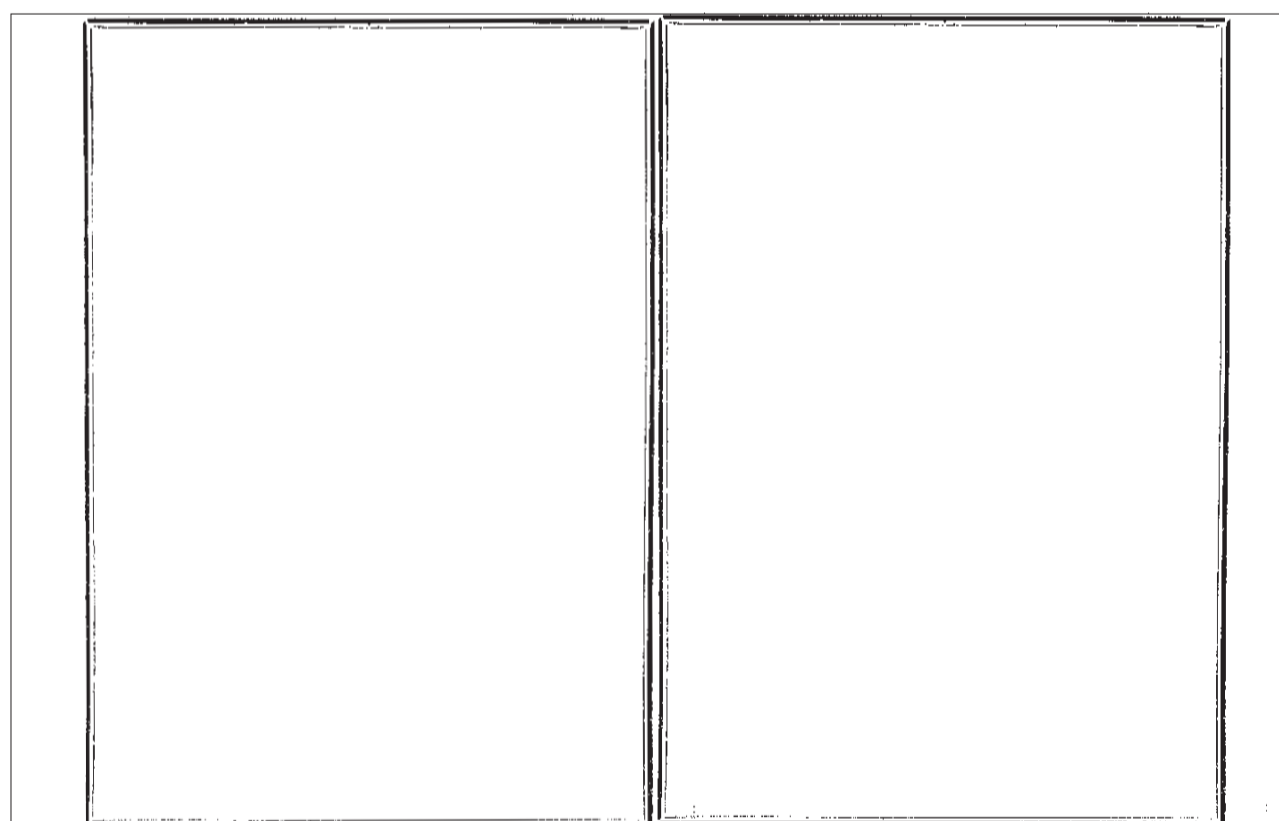
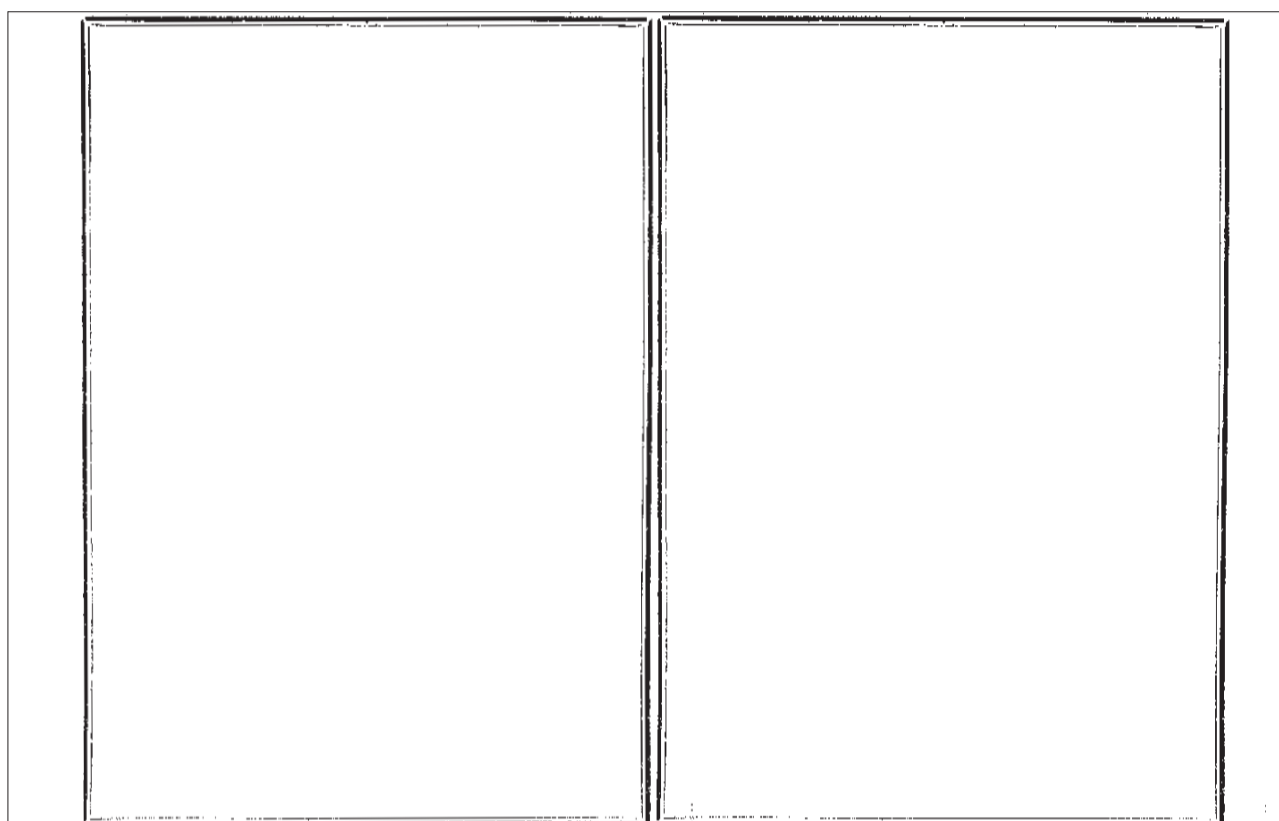


昭和六年民團事務報告書

附 民團財產明細書

天津居留民團



(6)		(5)	
第三、土 木 部			
一、土 木	一七二	九、昭和六年半年額鑑札發行表	九四
(一) 處理事項	一七一	五、各種寄附金	九五
(二) 工事施行	一七一	六、課金調査委員會	九六
(三) 一般修造	一八二	七、土地家屋台帳地圖ニ關スル事項	一〇〇
(四) 下水道工事	一八四	八、調 査 雜 件	一〇一
(五) 街 樹	一八五	九、諸 統 計 表	一〇二
二、上 水	一八七	イ、戶口統計一覽表	一〇二
(一) 給水工事	一八七	ロ、租界内日本人戶口表	一〇三
(二) 雜工	一八八	ハ、租界外日本人戶口表	一〇五
(三) 上水使用量及使用戶數	一八八	ニ、朝鮮人戶口表	一〇六
		ホ、台灣人戶口表	一〇六
		ト、西洋人戶口表	一〇七
		チ、日本人營業別	一〇七
		リ、租界内民國人人戶口表	一〇八
		ス、租界内民國人職業別	一一一
		セ、租界内道路敷地明細表	一一二
		ソ、天津事變ニ對スル中國人移轉及避難損害調査ノ件	一一三
		タ、天津事變ヲ入損害調査ノ件	一一六
		チ、事變ニ因ル年末救濟資金貸出取扱情況	一二〇
		リ、昭和四年年度居留民團歳入出決算書	一二二
		ロ、昭和四年年度特別會計電氣歳入出決算書	一二四
		ハ、昭和四年年度特別會計實業復興資金歳入出決算書	一四九
		ニ、昭和六年年度居留民團歳入出總豫算書	一五一
		ホ、昭和六年年度特別會計減債基金歳入出總豫算書	一六八
		ト、昭和六年年度特別會計天津公立學校増築費積立金歳入出總豫算書	一七〇

(8)		(7)	
第六、埠 頭 部		第五、保 淨 部	
一、白河狀態	二二四	三、建 築	一八九
二、天津港入港船舶統計	二二五	(一) 處理事項	一八九
三、民船發船數統計	二二六	(二) 工事施行	一八九
四、雜 件	二二六	一、傳 染 病	一九五
【附】		二、保健及防疫	二〇一
民團財產明細書	二二七	三、出 生	二〇六
資 產 ノ 部	二二七	四、死 亡	二〇七
負 債 ノ 部	二二五	五、犬ニ關スル事項	二一一
		六、療病院ニ關スル事項	二一一
		七、民團診療所	二二五
		一、保淨作業ノ概況	二二六
		二、道路撒水	二二八
		三、道路掃除	二二九
		四、公設下水道掃除及住街汚水溜淺溝	二一九
		五、私設下水道掃除及汚水汲取作業	二二〇
		六、糞 尿 收 去	二二一
		七、除 雪ニ就テ	二二二
		八、法潔法施行ニ就テ	二二三
		一、白河狀態	二二四
		二、天津港入港船舶統計	二二五
		三、民船發船數統計	二二六
		四、雜 件	二二六
		【附】	
		民團財產明細書	二二七
		資 產 ノ 部	二二七
		負 債 ノ 部	二二五

昭和六年天津居留民團事務報告

大正十四年一月總領事館令第一號第二十條の規定に遵ひ昭和六年一月より同十二月に至る一箇年間に於ける本民團事務の概要を報告すること左の如し

第一、庶務部

一、行政委員

昭和五年十二月二日改選の行政委員は昭和六年十二月全部離任し、同月開會の居留民會臨時會に於て之に付選舉を行ひ、同年同月二十日居留民會臨時會に於て再び改選せらるる本年中に於ける行政委員會長、會計主任、行政委員を擧ぐれば左の如し

會長 上野 壽 昭五年十二月就任 昭六年十二月任期満了
 副會長 岸田 菊郎 昭五年十二月就任 昭六年十二月任期満了

(1)

(2)

會計主任

平井 久一 昭五年十二月就任 昭六年十二月任期満了
 昭六年十二月就任

行政委員

勝田 重直 昭五年十二月就任 昭六年五月離任
 監谷 信治 昭五年十二月就任 昭六年十二月任期満了
 遠山 猛雄 昭五年十二月就任 昭六年四月離任
 香川 正一 昭五年十二月就任 昭六年十二月任期満了
 岸田 菊郎 昭五年十二月就任 昭六年十二月任期満了
 平井 久一 昭五年十二月就任 昭六年十二月任期満了
 岡本 久雄 昭五年十二月就任 昭六年十二月任期満了
 上野 壽 昭五年十二月就任 昭六年十二月任期満了
 中村 鐵一 昭五年十二月就任 昭六年四月離任
 銀治 靜一郎 昭五年十二月就任 昭六年四月離任
 武内 進三 昭五年十二月就任 昭六年十二月任期満了
 金山 喜八郎 昭五年十二月就任 昭六年十二月任期満了
 宮武 徳次郎 昭五年十二月就任 昭六年五月離任
 小谷 万次郎 昭五年十二月就任 昭六年十二月任期満了
 赤山 今朝治 昭五年十二月就任 昭六年十二月任期満了

(3)

豫備行政委員

銀治 靜一郎 昭六年十二月就任
 岸田 菊郎 昭六年十二月就任
 岡本 久雄 昭六年十二月就任
 監谷 信治 昭六年十二月就任
 上野 壽 昭六年十二月就任
 權松 眞經 昭六年十二月就任
 郡 茂行 昭六年十二月就任
 遠山 猛雄 昭六年十二月就任
 平井 久一 昭六年十二月就任
 金山 喜八郎 昭六年十二月就任
 武内 進三 昭五年十二月就任 昭六年四月上任
 金山 喜八郎 昭五年十二月就任 昭六年四月上任
 宮武 徳次郎 昭五年十二月就任 昭六年四月上任
 小谷 万次郎 昭五年十二月就任 昭六年五月上任
 赤山 今朝治 昭五年十二月就任 昭六年七月上任
 山田 榮治 昭六年十二月就任
 龜澤 省朝 昭六年十二月就任

(4)

二、行政委員會決議事項

本年中に於ける行政委員會開會回数五十回、回覽決議二十一回にして其決議事項左の如し

一月七日

- 一、負傷巡捕手當支給の件 可決
- 一、土地及家屋課金免除願に關する件 懸案
- 一、天津日本租界埠頭規則の件 懸案
- 一、土地及家屋課金免除願の件 可決

一月十四日

- 一、報償契約案 懸案

一月二十一日

- 一、報償契約案 懸案

一月二十八日

- 一、昭和四年度居留民團出入出決算書 懸案
- 一、昭和四年度特別會計實業復興資金出入出決算書 懸案
- 一、教育補助調査特別委員會規則廢止の件 可決
- 一、低賃買收土地處分調査特別委員會規則廢止の件 可決

(5)

一、埠頭築造調査特別委員會規程廢止の件	可決
一、埠頭築造用地並建造物買収調査特別委員會規程廢止の件	可決
一、道路及下水暗渠築造工費特別會計條例廢止の件	可決
一、冷蔵用水塊配給暫行規程廢止の件	可決
一、民團事務所處務規程改正の件	修正可決
二月 四日	
一、昭和四年度居留民團歳入出決算書	修正可決
一、昭和五年度家屋課金(追加六)決定ノ件	可決
一、昭和五年度土地課金(追加二)決定ノ件	可決
一、民團理事給與規程改正ノ件	可決
二月 十八日	
一、昭和六年度車費票購入ノ件	可決
一、豫備費支出ノ件	可決
一、退職捕房券金支給ノ件	可決
二月 二十三日	
一、昭和六年度居留民團歳入出總豫算案	審議
二月 二十四日	
一、昭和六年度居留民團歳入出總豫算案	審議
二月 二十五日	

(6)

一、昭和六年度居留民團歳入出總豫算案	審議
二月 二十六日	
一、昭和六年度居留民團歳入出總豫算案	審議
三月 二日	
一、昭和六年度居留民團歳入出總豫算案	審議
三月 四日	
一、土地課金條例中改正ノ件	修正可決
一、家屋課金條例中改正ノ件	可決
一、取得課金條例中改正ノ件	可決
一、營業課金條例中改正ノ件	可決
一、雜種課金條例中改正ノ件	可決
一、不動産取得稅條例中改正ノ件	可決
一、特別課金條例中改正ノ件	可決
三月 十一日	
一、昭和六年度通常民會期日決定ノ件	修正可決
一、民會議案ニ關スル件	可決
一、諸車駕札料條例中改正ノ件	可決
一、埠頭規則案	修正可決
三月二十四日ヨリ四日間申請ニ決定	

(7)

一、天津療病院藥價其他諸料金條例中改正ノ件	修正可決
一、天津公立學校増築費積立金條例案	修正可決
三月 十三日(回覽決議)	
一、民會議案追加ノ件	可決
三月 十七日	
一、昭和六年度衛生費負担額決定ノ件	可決
一、民會追加議案ノ件	修正可決
三月 二十日(回覽決議)	
一、昭和五年度取得課金「追加九」決定ノ件	可決
一、昭和五年度營業課金「追加七」決定ノ件	可決
三月 二十三日(回覽決議)	
一、昭和五年度及六年度財團年賦償還金額協定ノ件	可決
一、下水暗渠及道路築造工費特別會計條例廢止ノ件	可決
一、民會議案追加ノ件	可決
三月 三十一日(回覽決議)	
一、埠頭規則再改正ノ件	可決
四月 八日	
一、碎石購入ノ件	可決
一、一般修道用コルター購入ノ件	可決

(8)

一、專用水道敷設替用材料購入ノ件	懸案
一、吏員臨時手當ノ件	可決
四月 十五日	
一、巡捕被服購入ノ件	可決
一、賄料支給內規廢止ノ件	可決
一、吏員臨時手當ノ件	可決
四月 二十二日	
一、民國財政五ヶ年計畫ノ件	可決
一、給水工專器購入ノ件	可決
五月 六日	
一、昭和五年度取得課金異議申立分再決定ノ件	可決
一、土地時價及土地課金時價査定ノ件	可決
一、桃山街車道築造工事ノ件	可決
一、築道用赤煉瓦購入ノ件	可決
五月 十一日(回覽決議)	
一、人事ノ件	可決
五月 十三日	
一、昭和六年度營業課金(日本人)決定ノ件	可決

(9)

一、昭和六年度土地課金決定ノ件	可決
五月二十日	
一、昭和六年度取得課金(日本人)決定ノ件	可決
一、人事ノ件	可決
一、昭和五年度家屋課金拂戻ノ件	可決
一、修道用コイルター購入ノ件	可決
五月二十六日(回覽決議)	
一、給水工事用材料購入ノ件	可決
一、課金調査委員補缺依頼ノ件	可決
六月三日	
一、取得課金修正決定ノ件	可決
一、昭和六年度工巡費決定ノ件	可決
六月十七日	
一、昭和六年度家屋課金ニ關スル件	可決
一、人事ノ件	可決
一、浪速街道築造工事ノ件	可決
一、築道用赤煉瓦購入ノ件	可決
一、修道用赤煉瓦購入ノ件	可決
一、修道費支出ノ件	可決
六月二十四日	

(10)

一、昭和六年度家屋課金異議申立ニ付再決定ノ件	可決
一、昭和六年度取得課金異議申立ニ付再決定ノ件	可決
七月八日	
一、昭和六年度家屋課金「追加一」決定ノ件	可決
一、昭和六年度取得課金「追加二」決定ノ件	可決
一、山口御四郎地及福島街五號地ノ委任管理ヲ共益會ニ要求ノ件	可決
一、昭和五年度家屋課金減額申立ニ付決定ノ件	可決
一、會計主任代理選舉ノ件	可決
七月十三日(回覽決議)	
一、石山街道築造工事ノ件	可決
一、道路築造用碎石購入ノ件	可決
七月十四日(回覽決議)	
一、昭和六年度家屋課金「追加二」決定ノ件	可決
一、昭和六年度土地課金異議申立分再決定ノ件	否決
一、昭和六年度家屋課金異議申立分再決定ノ件	可決
一、昭和六年度家屋課金異議申立分再決定ノ件	可決
七月二十一日(回覽決議)	
一、人事ノ件	可決
七月二十九日	

團本委員當選

(11)

一、昭和六年度家屋課金負擔額減額決定ノ件	懸案
一、共立學校廟建築ノ件	可決
一、民團執務時間改正ノ件	可決
八月三日(回覽決議)	
一、人事ノ件	可決
八月五日(回覽決議)	
一、修道用ソリヂット購入ノ件	可決
一、昭和六年度家屋課金異議申立分再決定ノ件	可決
一、昭和六年度家屋課金異議申立分再決定ノ件	可決
一、昭和六年度取得課金「追加二」決定ノ件	可決
一、昭和六年度工巡費「追加一」決定ノ件	可決
八月十一日(回覽決議)	
一、芙蓉街歩道鋪裝工事施工ノ件	可決
一、道路鋪裝用セメントタイル購入ノ件	可決
八月十七日	
一、漢口居留民團へ水災見舞金寄附ノ件	可決
八月十七日(回覽決議)	
一、巡捕冬被服購入ノ件	可決
八月十九日(回覽決議)	

(12)

一、一般修道用碎石購入ノ件	可決
八月二十一日	
一、昭和六年度家屋課金「追加一」決定ノ件	可決
一、昭和六年度取得課金「追加二」決定ノ件	可決
一、昭和六年度家屋課金異議申立分再決定ノ件	可決
一、昭和六年度工巡費異議申立分再決定ノ件	可決
八月二十四日(回覽決議)	
一、浪速街宮島秋山街間道路築造工事ノ件	可決
一、道路築造用煉瓦購入ノ件	可決
八月二十五日(回覽決議)	
一、巡捕被服購入ノ件	可決
九月二日	
一、家屋課金減額決定ノ件	可決
一、道路築造用コイルター購入ノ件	可決
一、宿直内現改正ノ件	修正可決
九月四日(回覽決議)	
一、松島街歩道鋪裝工事施工ノ件	可決
一、歩道鋪裝用石灰購入ノ件	可決
一、歩道鋪裝用セメントタイル購入ノ件	可決

(13)

九月九日	一、秋山街汚物集積所改築ノ件	可決
九月二十三日	一、昭和六年度家屋課金「追加二」決定ノ件	可決
	二、昭和六年度營業課金「追加三」決定ノ件	可決
	三、昭和六年度家屋課金家屋課金異議申立分「第三號」再決定ノ件	可決
	四、昭和六年度家屋課金異議申立分「第四號」再決定ノ件	可決
九月二十六日	一、非常時副食物豫備品購入ノ件	可決
	二、義勇隊異動ノ件	可決
十月七日	一、修道用碎石購入ノ件	可決
	二、修道用コークス購入ノ件	可決
	三、人事ノ件	可決
十月十四日	一、大和街道路築造費追加支出ノ件	可決
	二、埠頭公業便所其他施工ノ件	可決
	三、巡捕毛皮外套新調及修理ノ件	可決
十月十六日(回覽決議)		可決

(14)

	一、昭和六年度取得課金「追加四」決定ノ件	可決
	二、昭和六年度工運費「追加二」決定ノ件	可決
十月二十一日	一、給水用鉛管購入ノ件	可決
	二、家屋課金減額決定ノ件	可決
十月二十二日(回覽決議)		可決
	一、人事ノ件	可決
十一月十日	一、居留民引揚命令發令方申請ノ件	可決
	二、避難所用白米購入ノ件	可決
	三、非常時巡捕臨時手當支給ノ件	可決
十一月二十二日	一、増兵請願ノ件	可決
十一月二十六日	一、増兵請願ノ件	可決
	二、義勇隊動員一部待命歸宅ノ件	追認可決
	三、義勇隊召集動員解除ノ件	追認可決
十一月二二日	一、事變中巡捕臨時増員ノ件	追認可決

(15)

	一、第九團債利子支拂延期交渉ノ件	可決
十二月十三日	一、民團事務所處務規程改正ノ件	可決
十二月十七日	一、工事請負契約保證金還付ノ件	可決
十二月二十四日	一、行政委員長選舉	可決
	二、同 副會長選舉	可決
	三、會計主任選舉	可決
	四、民間法規調査特別委員選出ノ件	可決
	五、課金調査委員選出ノ件	可決
	三、會計検査委員	
昭和五年末ヨリ昭和六年中ニ於ケル會計検査委員ノ異動左ノ如シ		
藤平正男 (昭和五年十二月二日改選)		
吉野久七 (全)		
瀧底正敏 (全)		
藤平正男 (昭和六年十二月二十日改選)		
武内進三 (全)		
	上野委員當選	
	岸田委員當選	
	平井委員當選	
	會長一任	
	會長一任	

(16)

四、諸規則の制定及改正	
昭和六年中行政委員及民會に於て議決し總領事の認可を得たる諸規則の制定及改廢左の如し	
(イ) 土地課金條例中改正ノ件 (三月三十日通常民會議決)	
土地課金條例中左ノ通り改ム	
第三條第二項トシテ左ノ一項ヲ加フ	
地價ハ五年毎ニ修正スルモノトス	
附則ニ左ノ一項ヲ附加ス	
本條例ハ昭和六年四月一日ヨリ之ヲ施行ス	
(ロ) 家屋課金條例中改正ノ件 (三月三十日通常民會議決)	
家屋課金條例中左ノ通り改ム	
第二條中「百分ノ三」トアルヲ「百分ノ四」ト改ム	
第五條ヲ左ノ通り改ム	
六ヶ月以上引續キ使用收益セザル家屋ハ所有者ノ届出ニ依リ行政委員會ノ決議ヲ經テ其ノ期間ニ相當スル課金ヲ半減スルコトヲ得	
附則ニ左ノ一項ヲ附加ス	

(21) (22)

<p>附則ニ左ノ一項ヲ附加ス 本條例ハ昭和六年四月一日ヨリ之ヲ施行ス</p> <p>第三八級 全 二、〇〇〇弗 第三九級 全 二、三〇〇弗 第四〇級 全 二、六〇〇弗 第四一級 全 三、〇〇〇弗 第四二級 全 三、五〇〇弗 第四三級 全 四、〇〇〇弗 第四四級 全 四、五〇〇弗 第四五級 全 五、〇〇〇弗 第四六級 全 六、〇〇〇弗 第四七級 全 七、〇〇〇弗</p> <p>(ホ) 雜種課金條例中改正ノ件 (三月三十日通常民會議決)</p> <p>雜種課金條例中左ノ通り改ム 第二條中遊藝場ノ部ヲ左ノ通り改ム</p> <p>特 一 等 月 額 銀 五 百 弗 特 二 等 同 同 銀 參 百 弗 特 三 等 同 同 銀 貳 百 弗</p>	<p>附則ニ左ノ一項ヲ附加ス 本條例ハ昭和六年四月一日ヨリ之ヲ施行ス</p> <p>特別課金條例中左ノ通り改ム 第二條中「百分ノ十」トアルヲ「百分ノ六」ト改ム 附則ニ左ノ一項ヲ附加ス 本條例ハ昭和六年四月一日ヨリ之ヲ施行ス</p> <p>(ハ) 特別課金條例中改正ノ件 (三月三十日通常民會議決)</p> <p>特別課金條例中左ノ通り改ム 第二條中「百分ノ十」トアルヲ「百分ノ六」ト改ム 附則ニ左ノ一項ヲ附加ス 本條例ハ昭和六年四月一日ヨリ之ヲ施行ス</p> <p>(ト) 諸車鑑札料條例中改正ノ件 (三月三十日通常民會議決)</p> <p>諸車鑑札料條例中左ノ通り改ム 第三條中</p>
---	--

(23) (24)

<p>小車(小形一輪車)トアルヲ 小車(小形二輪車)ト改ム 第九條ヲ左ノ通り改ム 本條例ニ規定セル諸車ニシテ無鑑札ナル者ヲ發見シタルトキハ其ノ未納料金及左ノ過料ヲ納入セシム</p> <p>自用人力車、馬車、自動車、自動自轉車ハ一期分 營業人力車、大車、荷積四輪牛馬車、中車、小車ハ一箇月分 自轉車ハ一箇年分</p> <p>附則ニ左ノ一項ヲ附加ス 本條例ハ昭和六年四月一日ヨリ之ヲ施行ス</p> <p>(ニ) 不動産取得稅條例中改正ノ件 (三月三十日通常民會議決)</p> <p>不動産取得稅條例中左ノ通り改ム 第二條第一號ヲ削除シ以下各號ヲ順次繰上グ 第四條ヲ左ノ通り改ム 本稅ハ所有權ノ取得ニ付テハ目的物件ノ時價千分ノ十五控保權ノ取得ニ付テハ債權額ノ千分ノ二ヲ賦課ス</p> <p>附則ニ左ノ一項ヲ附加ス 本條例ハ昭和六年四月一日ヨリ之ヲ施行ス</p>	<p>(リ) 天津療病院藥價其他諸料金條例改正ノ件 (三月三十日通常民會議決)</p> <p>天津療病院藥價其他諸料金條例ヲ民間診療所藥價其他諸料金條例ト改稱シ第一條以下左ノ通り改ム</p> <p>第一條 本所ノ藥價其他ノ料金を左ノ如ク定ム但シ高價藥及瓶代ハ別ニ其ノ實費ヲ徴收ス</p> <p>一、内服藥 散劑 一日分 銀二十仙 水劑 同 一回分 銀二十仙 頓服劑 同 一回分 銀二十仙 二、外用劑 劑 一回分 銀二十仙 三、處置料 劑 一回分 銀二十仙以上銀貳弗以下 四、病原體檢査、病理試驗及衛生試驗 各一回 銀五十仙以上銀貳弗以下 五、診斷書、證明書、檢査書手数料 一人ニ付 銀五十仙以上 六、酌婦ノ健康診斷 一人ニ付 銀五十仙 七、患者運搬自動車使用料 日本租界 每回 銀貳弗 日本租界外 每回 銀參弗乃至銀拾弗</p> <p>第二條 前條ニ依ル諸料金をハ行政委員會長ニ於テ必要ト認ムル者ニ對シ之ヲ減免スルコトアルヘシ</p>
---	---

舊天津醫院藥價其他諸料金條例第三條第四條及第五條ハ之ヲ削除ス
附則ニ左ノ一項ヲ加フ
本條例ハ昭和六年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

(又) 埠頭規則 (三月三十日通常民會議決)

- 第一條 本規則ハ天津日本專管居留地埠頭ニ出入積留スル船舶並ニ其ノ積揚貨物ニ對シ適用ス
- 第二條 船舶ニシテ本埠頭ニ積留セントスルキハ船主若ハ其ノ代理店ハ豫メ船名、日時及希
望場所ヲ記入セル積留申請書ヲ本埠頭事務所ニ提出シ積留ノ許可及積留場所ノ指定ヲ
受クベシ
- 第三條 凡テノ船舶ハ本埠頭事務所ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ埠頭附近ニ於テ積留シ又ハ
繫留ヲ要スルコトヲ得ス
- 第四條 本埠頭事務所又ハ繫留中ノ船舶ノ運轉及保安ハ如何ナル場合ト雖モ當該船舶ノ船長其ノ
責ニ任ス
- 第五條 船舶ハ埠頭繫留中蒸氣、汚水、灰燼、又ハ汚物ヲ埠頭上ニ排出スルコトヲ得ス
- 第六條 船舶ハ埠頭繫留中完全ナル歩履又ハ樓梯ヲ以テ陸上トノ交通ヲ便ナラシメ夜間ハ白燈
ヲ掲ケ交通ノ安全ヲ期スヘシ
- 第七條 船舶カ埠頭ノ塔壁建造物其ノ他ノ物件ヲ滅失又ハ毀損シタルキハ當該船舶ニ於テ賠
償ノ責ニ任スヘシ
- 第八條 埠頭上ニハ埠頭事務所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ建造物ヲ建設スルコトヲ得ス但シ豫メ

(26)

- 第九條 許可ヲ得テ方二米以内ノ移動式番小屋ヲ設置スルコトヲ得
火藥類其ノ他ノ引火貨物ノ運送積留並ニ保管ニ就テハ日本總領事館警察署ノ許可ヲ受
ケ其ノ指示ニ從ヒ之ヲ取扱フヘシ
- 第十條 紙類、拂寸、不燃障幕、麻類及化學品等ヲ埠頭ニ置ク場合ハ河面ニ近接シテ野積ニス
ルコトヲ要シ道路側ニ積置クヘカラス
- 第十一條 埠頭ニ關スル諸料金ハ別表ニ依リ之ヲ徵收ス
- 第十二條 本規則ニ違背シタルキハ行政委員會ノ決議ニ因リ拾得以上五百弗以下ノ過怠料ヲ納
入セシムルコトアルベシ

附則
本規則ハ昭和六年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
埠頭ニ關スル諸料金中汽船、モーター船ノ積留料ハ向一箇年間之ヲ免除ス
埠頭ニ關スル諸料金

一、繫船料

- 汽船、モーター船
登簿噸數一噸ニ付洋銀五仙トス(船主又ハ代理店ニテ負擔スヘキモノトス)但シ貨客ヲ積載
セサル曳船ハ之ヲ免除ス
前項ノ繫船料ハ着船ノ時ヨリ百二十時間有效トス之ヲ經過スルトキハ二十四間又ハ其ノ端
數毎ニ左記料金を徵收ス
登簿噸數五百噸未満 洋銀五弗

(27)

- 登簿噸數五百噸以上千噸未満 洋銀拾五弗
登簿噸數千噸以上 洋銀拾五弗
- 埠頭積揚場料
船舶ノ積揚貨物ハ一日ニ付一件又ハ百斤洋銀五厘トス但シ石炭、砂、木材、重量品、嵩高品
ニ限リ一噸ニ付洋銀五仙トス
危險品ハ一日ニ付洋銀一仙トス
危險品ハ當日ヨリ徵收シ其ノ他ノ貨物ニ對シテハ最初ノ一週間ハ無料次ノ一週間ハ前記料金
其ノ次ノ一週間ハ二倍其ノ次ハ三倍トシ以後之ニ準シテ計算ス
一週間未満ハ凡テ一週間ト看做ス
- 二、埠頭積揚場料
大型船(房小船) 洋銀二弗
中型船(雙船板) 洋銀一弗
小型船(單船板) 洋銀五十仙
船板船(擺渡小船等) 洋銀二十仙(又ハ一ヶ月洋銀二弗)

(28)

- 三、埠頭使用料
本埠頭ニ於テ積揚スル貨物ニ對シテハ其ノ價格ノ千分ノ一ヲ徵收ス
有程品ナルトキハ海關稅額ノ百分ノ一ヲ賦課ス
- 附則
本條例ハ昭和六年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
- (ル) 碼頭使用暫行規程廢止ノ件 (三月三十日通常民會議決)
昭和二年八月十九日發布碼頭使用暫行規程ハ昭和六年三月三十一日限り之ヲ廢止ス
- (オ) 下水暗渠及道路築造工費特別會計條例 (三月三十日通常民會議決)
廢止ノ件
- (ウ) 冷藏用水塊配給暫行規程廢止ノ件 (三月三十日通常民會議決)
昭和三年三月三十日發布冷藏用水塊配給暫行規程ハ昭和六年三月三十一日限り之ヲ廢止ス
- (カ) 天津共立學校增築費積立金特別會計條例 (三月三十日通常民會議決)
天津共立學校增築ノタメ積立金ヲ設ケ之ヲ特別會計トス

(29)

第二條 居留民團ハ昭和六年度以降昭和九年度迄ニ銀參萬五千弗ヲ一般會計ヨリ積立金ニ繰入ル、モノトス

第三條 積立金ノ支出ハ行政委員會ニ任ス

附 則

本條例ハ昭和六年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

(三) 諸規則廢止ノ件

本年一月二十八日行政委員會決議ニ依リ廢止となりたる規則左ノ如シ

一、教育補助調査特別委員會規則
 一、低賃買取土地地價分調査特別委員會規則
 一、埠頭築造調査特別委員會規則
 一、埠頭築造用地並建造物買取調査特別委員會規則

(夕) 民團事務所處務規程

昭和三年一月二十五日行政委員會決議
 昭和五年五月十四日行政委員會決議
 昭和六年一月二十一日行政委員會決議
 昭和六年十二月十二日行政委員會決議改正

第一章 民團事務所ニ左ノ部及課ヲ置ク

總務部 庶務係
 會計課 庶務係
 庶務課 庶務係
 庶務課 庶務係
 庶務課 庶務係

(30)

土木部 土木係
 建築係
 水道係
 衛生部 保健係
 保健係
 保健係
 埠頭部 埠頭係

第二條 各ニ部長ヲ置ク

部長ハ理事ノ命ヲ受ケ其ノ部ニ屬スル事務ヲ管掌ス

係主任ハ部長ノ指揮ニ從ヒ各自分擔事務ヲ處理スルモノトス、主任ノ事故アルトキハ次席係員之ヲ代理ス

第三條 各部ニ屬スル事務ノ分掌左ノ如シ

總 務 部

庶 務 係

一、公印ノ保管ニ關スル事項
 二、法制ニ關スル事項
 三、議員其他ノ選舉ニ關スル事項
 四、公告ニ關スル事項
 五、來往文書取扱ニ關スル事項
 六、會議及記錄編纂ニ關スル事項

(31)

七、議案、通知書等ノ發送ニ關スル事項
 八、翻譯ニ關スル事項
 九、吏員ノ進退身分ニ關スル事項
 一〇、所内取締ニ關スル事項
 一一、團有財産管理ニ關スル事項
 一二、教育ニ關スル事項
 一三、團有土地管理貸下及道路使用ニ關スル事項
 一四、義勇隊ニ關スル事項
 一五、警備消防ニ關スル事項
 一六、寄附、補助及救済ニ關スル事項
 一七、訴訟及和解ニ關スル事項
 一八、諸契約ノ締結ニ關スル事項
 一九、祭典、儀式ニ關スル事項
 二〇、接待送迎ニ關スル事項
 二一、社會事業ニ關スル事項
 二二、其他部ニ屬セザル事項

會計 係

一、豫算決算ニ關スル事項
 二、財政及團債ニ關スル事項

(32)

三、收入及支出ノ手續ニ關スル事項
 四、金錢出納ニ關スル事項
 五、現金有價證券保管ニ關スル事項
 六、特別會計ニ關スル事項
 七、主簿帳簿及計算表調製ニ關スル事項
 八、其他會計ニ關スル事項

調 査 係

一、賦課金、使用料及手数料ニ關スル調査事項
 二、其他各種統計ニ關スル事項
 三、土地及家屋家賃ニ關スル事項
 四、土地建物ノ價格評價ニ關スル事項
 五、其他調査ニ關スル事項

徴 收 係

一、課金、使用料及手数料ノ徴收ニ關スル事項
 二、諸課札下附著ニ關スル事項
 三、滞納整理ニ關スル事項
 四、其他徴收ニ關スル事項

用 度 係

一、物品購入ニ關スル事項

(34)

(33)

<p>(34)</p> <p>防疫係</p> <ul style="list-style-type: none"> 一、傳染病預防ニ關スル事項 二、清潔法並消毒ニ關スル事項 三、狂犬病預防ニ關スル事項 四、學校傳染病預防ニ關スル事項 五、其他防疫ニ關スル事項 <p>保健係</p> <ul style="list-style-type: none"> 一、學校衛生ニ關スル事項 二、上水ノ衛生ニ關スル事項 三、清涼飲料水ノ取締ニ關スル事項 四、飲食物及同器具ノ取締ニ關スル事項 五、水質検査ニ關スル事項 六、救護ニ關スル事項 七、行路病人及行路死亡人ニ關スル事項 八、其他保健衛生ニ關スル事項 <p>診療所係</p> <ul style="list-style-type: none"> 一、診療ニ關スル事項 二、其他診療所ニ關スル事項 <p>保淨係</p>	<p>(33)</p> <p>土木部</p> <ul style="list-style-type: none"> 一、物品保管及配給ニ關スル事項 二、廢品處分ニ關スル事項 三、其他用途ニ關スル事項 <p>土木係</p> <ul style="list-style-type: none"> 一、道路、橋梁並埠頭、護岸等ノ工事ニ關スル事項 二、下水工事ニ關スル事項 三、測量製圖ニ關スル事項 四、街樹ニ關スル事項 五、其他土木ニ關スル事項 <p>水道係</p> <ul style="list-style-type: none"> 一、上水道工事及給水ニ關スル事項 二、量水器點檢ニ關スル事項 三、其他水道ニ關スル事項 <p>建築係</p> <ul style="list-style-type: none"> 一、民間建築物工事及修繕維持ニ關スル事項 二、建築許可願並ニ建築物検査ニ關スル事項 三、其他建築ニ關スル事項 <p>衛生部</p>
--	---

(36)

(35)

<p>(36)</p> <p>執務時間</p> <p>自九月一日至五月三十一日 午前九時ヨリ正午マデ 午後一時ヨリ午後四時マデ</p> <p>自六月一日至八月三十一日 午前八時ヨリ午後一時マデ 但土曜日ハ正午限リ</p> <p>(ツ) 宿直内規改正ノ件 (九月二日行政委員會議決)</p> <p>第一條 本民團事務所内警備並ニ退局後及休日ニ於ケル臨時ノ事務ヲ處理スル爲メ專任宿直ヲ置ク</p> <p>第二條 專任宿直ハ日直、使丁ノ監督及所内ノ取締ヲ兼務ス但シ理事ハ臨時各部ノ補助勤務ヲ命スルコトアルヘシ</p> <p>第三條 專任宿直病氣其他止ムヲ得サル事故アルトキハ理事ノ命ニヨリ吏員又ハ雇員中ヨリ臨時補充スルモノトス</p> <p>第四條 宿直及日直中發生シタル緊急事件ハ一應主務者ニ通知シ處理スルモノトス</p> <p>第五條 宿直及日直中ハ各所ノ鍵ヲ保管シ戸締其他火ノ元ヲ嚴重ニ取締ルヘシ</p> <p>第六條 宿直及日直中火災又ハ近火ノトキハ應急ノ處置ヲナシ一面各吏員ニ急報スヘシ</p> <p>第七條 宿直及日直中火災又ハ盜難ニ罹リタルトキハ實況ヲ詳密ニ其願本理事ニ報告スヘシ</p> <p>第八條 宿直及日直中ニ取扱ヒタル事件ハ毎日之ヲ宿直日誌ニ記載シ理事ノ檢閱ヲ受ケヘシ</p> <p>第九條 吏員及雇員カ專任宿直ノ補給ヲ爲シタルトキハ一夜又ハ一日ニ付銀五拾圓ヲ支給ス</p>	<p>(35)</p> <p>埠頭部</p> <ul style="list-style-type: none"> 一、道路掃除ニ關スル事項 二、下水道掃除ニ關スル事項 三、撒水ニ關スル事項 四、汚物除去ニ關スル事項 五、除雪ニ關スル事項 六、其他保淨ニ關スル事項 <p>埠頭係</p> <ul style="list-style-type: none"> 一、埠頭ノ施設ニ關スル事項 二、埠頭ノ統計、調査ニ關スル事項 三、埠頭使用ニ關スル事項 四、埠頭ノ維持、管理及經營ニ關スル事項 五、其他埠頭ニ關スル事項 <p>(レ) 民團理事給與規程中改正ノ件 (二月四日行政委員會議決)</p> <p>民團理事給與規程第八條第二項トシテ左ノ一項ヲ加フ</p> <p>已ムヲ得サル事山ニヨリ任期中退職シタルトキハ相當ノ慰勞金ヲ給與スルコトヲ得</p> <p>(リ) 天津居留民團執務時間及休日改正ノ件 (七月二十九日行政委員會議決)</p> <p>本民團事務所ノ執務時間左ノ如ク改正ス</p>
--	---

五、豫備費支出ノ件	
申請月日	認可月日
二月十九日	二月十九日
六月十八日	六月二十日
昭五年度 昭六年度 昭七年度	昭五年度 昭六年度 昭七年度
出入出豫算 出入出豫算 出入出豫算	第一常部 第一常部 第一常部
事務所費 事務所費 事務所費	七、九〇〇〇〇 七、九〇〇〇〇 七、九〇〇〇〇
徴收手数料 徴收手数料 徴收手数料	六八〇〇〇 六八〇〇〇 六八〇〇〇

委員	
赤山今朝治	昭五年度十二月十二日より 昭六年度五月二十八日迄
金山喜八郎	全
小谷萬次郎	全
武内進三	全
高橋英之助	全
井高岩一郎	全
池田兵七	全
小倉知正	全
清水一太郎	全
副田重次郎	全
竹下重太郎	全
田中鑄太郎	全
武田守信	全
永安平吉	全
松本京作	全
森郁太郎	全
山上逸	全
山尾市二郎	全

課金調査委員	
赤山今朝治	昭五年度十二月十二日より 昭六年度七月十二日迄
井高岩一郎	昭六年度七月十三日より
副委員長 永安平吉	昭五年度十二月十二日より

會	
大野榮	昭六年度五月二十九日より
五十嵐重吉	全
稻田龜治	全

委員	
石川通	昭五年度十二月十一日より
藤平正男	昭五年度十二月十一日より
小林陽之助	全
松尾豐實	全
白井忠三	全
植前香	全
上野猛	全
遠山猛	全
鹽谷信雄	全
勝田重直	全
香川正一	全
中村鐵一	全

(八) 埠頭委員	
岸田菊郎	昭六年度一月十二日より
井高岩一郎	昭六年度一月十二日より
今村文平	全
西源喜	全
沖正三	全
金井進三	全
武内進三	全
上野壽	全
松尾實	全
相原俊夫	全
木村伍郎	全
岸田菊郎	全
岡本久雄	全
結城正也	全
松葉重隆	全

(九) 民國法規特別調査委員	
石川通	昭五年度十二月十一日より
藤平正男	昭五年度十二月十一日より
小林陽之助	全
松尾豐實	全
白井忠三	全
植前香	全
上野猛	全
遠山猛	全
鹽谷信雄	全
勝田重直	全
香川正一	全
中村鐵一	全

七、民會議員異動ノ件

本年民會議員中左ノ通り異動アリタリ

(一) 辭任

(離任月日)

四月九日

四月十一日

四月二十三日

四月二十三日

六月十九日

七月四日

十月十五日

(二) 上

十一月二十一日補闕主任

郡 茂 行

龜澤省 朔

木下秀良 (以上二級)

中島徳次

香川正一

中村鐵一

清水幸三郎

吉野久七

李元燮

松葉重隆

民團理事就任ノタメ

轉任津ノタメ

同

都合ニヨリ

死

都合ニヨリ

轉任津ノタメ

横田寅太郎 (以上二級)

山越金太郎

八、事務依囑ノ件

一、理事事務代行依囑ノ件

一月二十六日松本理事辭職トナリタルガ後任者決定ナカリシヲ以テ行政委員會ハ民國法施行規

期第五十五條ニ據リ遠山行政委員ニ理事事務代行ヲ依囑シ同委員ハ一月二十六日以降四月九日

後任者中島理事就任ニ至ル迄毎日當局理事代理トシテ事務ヲ掌掌セリ

二、外事係事務臨時依囑ノ件

外事係高木囑託病氣ノタメ同事務ニ支障ヲ來タセシヨリ四月十四日ヨリ二見光一氏ヲ臨時囑託

トシ同事務ヲ依囑シ高木囑託病氣回復出動ト共ニ八月七日解囑セリ

三、埠頭事務臨時依囑ノ件

埠頭課開設ニ伴ヒ新規則實施上ノ必要ニ據リ四月三十日結城洋行員藤野順太郎氏ヲ臨時囑託

シテ埠頭諸事務ヲ依囑シ埠頭係トシテ野野書記採用ト共ニ五月二十六日解囑セリ

四、埠頭上層倉庫新築工事監督事務依囑ノ件

埠頭上層倉庫新築工ニツキ十月九日加納隆宏氏ヲ臨時囑託トシ同工事監督ヲ依囑シ十一月末

日工事不可能季ニ入ルト共ニ解囑セリ

九、第七團債償還及利子支拂猶豫ニ關シ請願ノ件

大正十四年政府ヨリノ借入金五十萬圓ノ昭和五年度分償還元利金六萬五千圓ニ對シ大藏省ヨリ總領

事館ヲ通ジテ納入告知書ヲ送付シ來タレリ、然レ共現在民國團財政情態ハ前年度繰越金ニ依ラバ右支

拂ヒニ可能ナルモ、之ガ決行ヲ放テス時ハ其ノ後引續キ深刻ナル世界ノ不況ノタメニ收入激減シ

豫算ニ非常ナル赤字ヲ生ジ經營甚ダ困難ニ陥レルヲ以テ、此ノ際特ニ昭和五年度以降ノ償還猶豫ヲ

請ヒ以テ財政整理ヲ期セムトシ左掲ノ如ク大藏外務兩省宛請願書ヲ提出セリ

天津居留民國

天民甲第一三二號

昭和六年五月十九日

井上準之助 殿

大藏大臣

第七團債年賦償還金納入告知書ニ關スル回答ノ件

弊民國カ日本租界埠頭築造資金ノ一部トシテ大正十四年政府ヨリ貸下ヲ受ケ金五拾萬圓ノ昭和

五年度分償還元金五萬圓也及利子金壹萬五千圓也ノ納入告知書一通責省ヨリ總領事館ヲ通ジ送

付ヲ得候處右ハ別紙昭和六年度豫算ニ於テ示ス如ク相當額ノ前年度繰越金ヲ有スルヲ以テ(總豫

算歲入臨時部第一欸参照)之ヲ昭和五年度ニ於テ支出返還スルハ必シモ不可能ニ非サリシモ右

支拂ヲ決行スル時ハ昭和六年度豫算ハ勢ヒ實行不能ニ陥ルノミナラス尙該豫算及別紙外務大臣宛

請願書ヲ御通覽被成下候ハハ明瞭ナル通り現在民國財政ノ狀態ニ於テ銀貨暴落物價騰貴等ノ懸影

懸ニヨリ打撃ヲ以テシテ將來ヲ考察セハ昭和六年度以降昭和十年迄ノ事態ノ變化ナキ限り如何ニ

スルモ本邦下金元利償還金ヲ豫算ニ計上スルヲ得サル狀態ニ有之隨テ昭和五年度以降ノ延期請願

ヲ爲スニ非ラハ到底民國財政ヲ維持シ難キ難況ヲ特ニ諒トセラレ貴省ニ於テモ外務省ニ對スル

請願同様昭和五年度ヲ含ム年賦償還金納入延期方御承認被成下度此段年延引御願旁々御回答申上

候也

具

民國第七團債ヲ昭和五年度以降六ヶ年間繰延ニ關スル請願書

弊民國カ日本租界埠頭築造資金ノ一部トシテ大正十四年政府ヨリ貸下ヲ受ケ金五拾萬圓ノ昭和

五年度分償還元金五萬圓及利子金壹萬五千圓ノ納入告知書一通大藏省ヨリ總領事館ヲ通ジ御送付

ヲ得候處右ハ御貸付當時ノ御契約ニ基キ當然無難納付可致營ニ有之亦本團ノ主意ヲ以テスルモ

昨年度ニ於テレ本團ヲ提出シ疾クニ御諒解御承認ヲ得ヘキモノタルニ拘ハラズ期限到來後特ニ納入

告知書ヲ御送付ヲ受領シタル今日ニ於テ本請願ヲ提出スルハ既ニ其手續上ニ於テ本末ヲ顛倒シ内

面ノニハ民國事務上ノ進行ニ於テ自ラ豫算繰延ノ酷シキヲ暴露スルモノニシテ今更恐縮措ク能ハ

サル次第ニ御座候得共事實ハ一昨年度省ノ御時旋ヲ以テ借入タル第一相互保險株式會社ニ對スル

限債成立以後世界ノ財界不況ノ深刻ナル懸影響ハ著シキ歲入ノ減少ヲ招來シ(就中電氣收入ニ於

テ)且ツ急激ナル金銀比價ノ變動並ニ其反動トシ波及シ來レル物價騰貴等ノ諸現象ニヨリ民國財

政ハ極度ノ困難ニ陥リ爲メニ昨年度ニ於テ裁カニ從來ノ財政計劃ヲ變更シ時局ニ審所對應スヘ

キ五ヶ年計劃ヲ作製シ是カ實行ニ努メタルモ初一年ニ於テ已ニ早ク幾多ノ困難支障ヲ來シ候様ノ

次第ニ有之隨テ本請願主意ヲ御容認ヲ乞フニ足ルヘキ確タル將來ノ計劃ノ想定ヲ爲シ能ハスシテ

是ヲ昨冬新行政委員會ニ申繼クノ已ムナキニ立至リ候茲ニ於テ新行政委員會ハ成立以來深ク既往

ノ經過ニ鑑ミ將來ノ財政方針トシテ萬已ムヲ得サルモノノ以外斷然新事業ノ計劃ヲ取止メ一般

緊縮整理ノ徹底ヲ期シテ昭和六年度豫算ヲ編成シ(本團御採納ノ豫期シテ)多クノ修正ヲ見スシテ

民會ノ通過ヲ得タリ更ニ試ミニ本年度豫算ヲ基礎トセル向フ五ヶ年間ノ財政見込表(添付書類甲

表)並ニ同上豫算ヲ基礎トシテ本團債ヲ履行スヘク假想シタル向フ十ヶ年間ノ財政見込表(添付

書類乙表)及ヒ昭和六年度ヨリ五ヶ年間ノ歲入出豫想表ヲ(添付書類第一表第二表)作製シ之ヲ

(42)

(41)

(44)

(43)

(45)

通融スルニ民間財政ノ窮迫ハ實ニ豫想外ニシテ表示ス如ク本團ノ御認許ヲ受クルモ尙ホ其ツ昭
和十年度ニ於テ總不足額拾貳萬貳千弍拾陸ヲ指示シ加フルニ十一年度以降トモ本團御認許ヲ得
ルカ爲メニ宣テ財的ニ潤澤ノ餘融ヲ見ル能ハスシテ依然其舊狀ヲ脱離シカタクハ大ヲ諾ルヨリ
明カナル次第ニ有之候然レドモ一面財團法人共益會ノ財政狀態ヲ察スルニ別表參考添付書ニ示ス如
ク昭和十年度以降ニハ團債ノ償却著シク減額シ茲ニ多分ノ餘融ヲ生スルヲ以テ自然此間ノ協定ニ
由テ民間ノ苦境ヲ補填シ得ルノ途ヲ得ヘク他面深融ナル不況ニ喘ク現在市場モ既ニ其底ヲ觸
キテ幾分曙光ノホノ見エサルニアラサルヲ以テ極度ニ緊縮シタル本年度豫算ヲ基調トシテ作製セ
ラレタル別表ニ對シ幾分増收の動キヲ看ルコトモ亦豫期スルニ難カラズ存候右種陳セル事情ニ
付特別ノ御認許ヲ以テ民間第七團債ヲ昭和十年度ヨリ向フ六ヶ年間元利共返償御認許ヘ方御許可
被成下度此段年延引請願仕候也

昭和六年五月十九日

天津居留民團
行政委員長 上野 壽

外務大臣 幣原 喜重郎 殿
右ニ對シ外務省ヨリ未ダ回答ニ接セザリシガ其後上海民團ニ於テハ外務省貸下業務復活資金ノ回
收ニ際シ貸下當時ノ爲替換算率ニ據ルコトナリタル旨確開セラルト當團債元利償還後支拂延期ハ
此際民間財政整理ノ唯一ノ途ナル事ヲ痛感セルヲ以テ更ニ九月十日左記ノ通り外務大臣宛請願書
ヲ提出セリ

(46)

昭和六年九月十日

天津居留民團
行政委員長 上野 壽

外務大臣 幣原 喜重郎 殿
去ル昭和六年五月十九日附天民第一三三號ヲ以テ大正十四年政府ヨリ御貸下ヲ受候金五拾萬圓ニ
對シ昭和六年以降向フ五ヶ年間元利共延期方御認許ニ及ヒ未ク其ノ御指令ニモ接セザルニ先ク
今亦茲ニ本團ヲ提出スルハ宛カラシムモ得サルニ更ニ望ムニ均シク餘リニモ勝手ケ間敷聊カ
枉情タルヲ免カレサル次第ニ御座候得共熟ラ弊民團ニ於ケル過去兩三年ニ亘ル財政狀况並ニ一
般の財界ノ傾向ヲ察シ觀テ近來中華民國ノ情ノ急激ナル推移ヲ伴フ民間ノ將來ヲ考慮セハ今ニシ
テ豫メ之方對策ヲ慎重ニ考究シ一面ニハ緊縮整理ヲ徹底シテ負擔ノ償却ヲ期スルト俱ニ他面ニ於
テハ今後ヨシ國際政治上我租界ニ一ノ組織的變化ヲ招來スルコトアリトスルモ多年位々能ク今日
ノ基礎ヲ形ツクリタル我租界ノ地盤ヲヨリ堅實ニ把握シ以テ益々將來ノ進展開發ヲ企圖スヘク時
運ニ善處スルハ正シク現民團存立ノ目的ニシテ亦刻下ノ難局ニ處スル唯一ノ使命ナリト確信仕
愛ニ意ヲ決シテ強テ本團提出ニ及ヒタル次第ニ有之其ノ萬已ムヲ得サルニ出タル微衷先ツ以テ肩
頭ニ於テ御認許ヲ仰キ置キ度奉懇願候

本團ノ要旨

一、大正十四年外務省貸下金五拾萬圓ノ償還方法ヲ元利共民間使用當時ノ金銀比價ニ依リ償還
シ得ル様特別ノ御認許ヲ乞フコト

二、前項ノ御認許ヲ得タル場合ニ於テ元利金償還ハ昭和拾壹年度ヨリ開始シ五ヶ年間ニ分割償

(47)

還スルコト(但シ昭和拾壹年度迄ノ延滞利子ヲ含ム)

理由

一、本團債ハ最先御承知ノ通り將來ニ於ケル日本租界ノ發展隆昌ト日支貿易ノ振興ニ寄與スル爲
メ夙ニ計畫セラレタル埠頭築造資金銀百拾萬圓也中ノ一部トシテ數次ノ請願ヲ經テ御貸下
ヲ得タルモノニ有之當時金銀比價ハ金價低落ノ際トテ民間ノ受入レ之ヲ埠頭資金ニ充當シタ
ル實數額ハ銀四拾壹萬七千弍(八三四)ニ過キス然ルニ數年後ノ償還期ニ到達セシ時
年來不幸ニシテ銀價ハ世界の大暴落ノ運命ヲ迎テ現ニ民間ノ豫算並ニ見越計畫ハ其換算率ヲ
②三〇乃至二五〇ノ最低率ノ範圍ニ於テ運用シツツアルモ尙ホ且ツ一片ノ不安危懼ヲ禁シ
難キ現前ノ事象ニ對シ居次第ニ有之間カモ此世界のノ大勢カ邊キ將來ニ回復シ得ル見込殆
ク絶無ナル今日何等カノ方法ニ由テ此種難局ヲ打開スルニ非サレハ屢ナカラ衰亡ヲ俟ツカ或
ハ少クトモ公共團體ノ使命ハ半ハ其ノ活用ヲ停止スルノ外ナキ次第ニシテ多年比較的潤澤ノ
財政ヲ以テ維持ナセル我民團カ昨年來急激ノ財政難ニ陥キレハ無論財界不況ノ影響ニヨル
一部ノ波動ヲ否ミ得サルモ其ノ大部分ハ銀價暴落ノ結果ニ外ナラス尙ホ茲ニ特ニ深甚ノ省
察ヲ希フ點ハ本團債ノ目的タル埠頭築造ノ工程ハ豫定ノ進行ヲ見テ昭和二年七月滯リナク完
成ヲ告ケタルニ拘ハラズ生憎ニモ自然の災厄タル海河ノ泥塞ヲ來シ以來一進一退今ニ至ルモ
埠頭ノ利用ヲ實現シ得サル一事ニ御座候右ハ大自然ノ威力トシテ如何トモ致シ難キ義ニ有之
候モ爲メニ御貸下當時上申セシ償還計畫カ全然畫餅ニ歸スルニ至リシニ洵ニ遺憾極マル次第
ニシテ要スルニ民間財政ハ此ノ自然の海河ノ泥塞ト人爲ヲ超越シタル銀價暴落ノ大災厄ニヨ
ツテ不測ノ深淵ニ墜落シツツアル現狀ニ有之候然ルニ近頃確開スルコロヨレハ昭和二

(48)

二年事變ニヨリ貴省ヨリ上海民團ニ御貸下相成候金貳拾萬圓也ノ業務復活資金ニ關シ其ノ
貸付金回收方法ハ貸付當時ノ金銀爲替換算率ニ據テ回收スヘク御指令相成候趣キ示知仕候
即チ此御指令ハ上海民團ノ貴省ニ對スル團債償却ニ於ケル爲替率ヲ明示セラレタルモノニ非
サルモ反面ニハ右團債ハ復活資金貸付當時ノ金銀比價ニ依リ償還スヘキコトヲ暗示セラレタ
ルモノニシテ遺ハ貸付資金ノ性質並ニ爲替相場ノ變動起リナキ特異ナル環境ニ對スルニ適切有
効ノ御處置トシテ洵ニ感激措ク能ハサルモノニ有之同シテ之ヲ當民間ノ團債ニ對照スルニ御
貸下當時ニ於ケル資金ノ性質ハ多少ノ相異點有之候モ結果ヨリ見レハ一ハ動亂ニ依リ救助
資金ニシテ一ハ自然不可測ノ災厄ニヨツテ積極的資本ノ活用ヲ頓挫死藏スルモノニシテ而カ
モ爲替ノ慘落ニヨリ使用當時ノ金銀比價ニ據テ償却シ得ル様御認許ヲ乞フハ必シモ滯上不適
ノ請願ニアラズト愚考仕候

二、願テ現時ノ實狀ヨリ將來ニ於ケル民間財政ノ歲入狀態ヲ考察スルニ深刻ナル世界的不況ノ影
響ハ租稅其他一般收入ニ於テモ從前ノ如ク豊富ナル自然增收ヲ豫期シ能ハサルノミカ幾分カ
漸減ノ步調ヲ辿ルニアラサヤト懸念セラレル傾向カラス加フルニ頓ニ動興シ來レル中華民
國ノ國權恢復熱ハ近來各種ノ方面ニ其鋒ヲ顯ハシ現ニ居留地内居住ノ中國人ニ對シ營業稅
賦課ノ問題ヲ提起シ來タルカ如キハ即チ其片影ニシテ殆クト將來ヲ豫測シカク現況ナルト
俱ニ此等ノ事實カ直接間接ニモ民間收入ニ多大ノ影響ヲ波及シ來ルコトモ亦考慮ニ置カサル
ヘカラス隨テ今ニシテ本請願ノ如キ果斷ノ措置ナクシテ邊然手ヲ拱キテ時期ノ到來ヲ待ツ如
キコトアラハ義キニ請願セシ五個年延期ノ間到來後ニ於テ再ヒ償還決定ヲ變更スルノ止ムヲ

得ルニ立至ルモナリ難ク假リニ幸フシテ之ヲ履行シ得ルモ本團債ヲ償却シ終ル迄約拾箇年ノ長キ歳月ニ於テ吾民團行政ハ時運ニ處スル何等ノ建設ヲ爲シ能ハスシテ彌縫ト停頓ニ終始セザルヘカラス是レ果シテ民團存在ノ使命ニ顧ミテ尙ホ忍從ヲ強ヒラレヘキコトナカカ類ハ疑ナキ能ハサル義ト存候 之ニ由テ是ヲ視レハ民團將來ノ財政ハ一面本團ノ御認許ヲ得テ不自然ナル負債ノ極積ヨリ開放セラレト供ニ他面一日モ早ク埠頭ノ利用ヲ促進シ以テ積極的ニ財政收支ノ調節セラレルコト恰カモ財團法人共益會設立以前ニ於ケル我電氣事業ノ如クナラシメサルヘカラス

之ヲ極言セハ我民團行政カ氣息奄奄トシテ沈滞無爲ノ現狀ヲ維持スルカ進メテ文化的施設ヲ充實シテ民團本來ノ使命ヲ完フヘキカハ一ニ繁テ埠頭ノ活殺如何ニ在リトノ結論ニ到達可致候然ルニ此處ニ際シテ最モ快活勇猛ヲ能ハサルニ大願ヲ抱キテ明年秋期ニ於テ確實ニ高橋埠頭日本船塢ノ遷移ヲ見我埠頭ハ的確ニ全活用ヲ具現セントスルニ義ニ有之候

即チ

- 一、昭和六年四月十六日ヲ以テ多年ノ遷移タル天津港城 張ノ義ハ決定セラレ既ニ港開ノ發布公布セラレタル事
- 二、從來幾多ノ迂回曲折ヲ經タル總理海河委員會ノ永定河泥流防止計劃ハ南京政府ノ公認ヲ得テ三百四十六萬弗ト云フ巨額ノ調達成リテ既ニ本埠頭ヲ起シ埠頭ノ明年夏期マテニ完成ノ見込確實ナルコト
- 三、右ノ結果トシテ向フ拾五箇年乃至二十箇年開河河ノ泥塞ハ完全ニ除去セラレルコト

三、現狀ノ泥塞狀態ハ上流ノ泥流防止工事ノ完成以前泥流セラレ日本埠頭上流ニ其位置ヲ決定セ

ル船塢ハ是亦上流泥流防止工事ノ完成ト相俟テ築造セラレルコト

以上ノ事實並ニ借據スヘキ各機關ノ確實ナル聲明ハ今日マテ數年來一喜ニ憂只管海河ノ河面ヲ凝視シテ陰鬱焦慮ノ極ニ經過シ來タル一般ノ人衆ヲ驚キ立タセ現ニ一汽船會社ノ如キハ船塢ノ築造ヲ待ツマテ先ツ小型船塢ノ遷移計劃目下弊民團下之カ設備ニツキ交渉中ニテ尙ク民會附議實現ノ機會遠カラズト相信シ候大勢既ニ此ノ如ク明年度後半期以降多數船塢ノ遷移可能ニシテ且ツ決定ナリトセハ往年資金難ノ爲メ中途ニシテ頓挫廢棄セラレタル現狀上設備ノ完成ハ再ヒ焦眉ノ急ニ迫リ高難ヲ排スルモ之カ對策ヲ講セサルヘカラス隨テ當民團ハ埠頭收入ヲ見越シテ或ハ新規起債ノ止ムヲ得サルニ出ヅルカ將亦他ニ適當ノ方途ヲ探フヘキカ其ノ數レモモヨ現在民團財政ノ狀勢ニ於テ奈何ニ敏捷明瞭ノ手跡ヲ以テスルモ不自然ナル負債暴落ニ累セラレル團債償却ノ不動的ニ附屬ヲ限リ給シテ策ヲ施スヘキナキハ御實察ヲ乞フニ餘リアル議ト奉存候

之ヲ要約スルニ弊民團ハ徒ラニ兒女ノ態ヲ學ンテ猥リニ他ノ責ヲ推ツモノニ無之候得共由來内地重要都市ニ於ケル港灣築造ノ如キハ其ノ大部分ハ國庫ノ補助ニ俟ツモノ多キニ拘ハラス海外諸國大ノ天津日本租界カ列國邊境ノ標ニ能ク獨力之ヲ敢行スルニ至レル程給シ其ノ努力ニ對シテハ深ク母國政府ノ御諒察ヲ乞フヘキ理由アルヲ信スルト俱ニ近來頗ニ變化シ來ル中華民團ノ國情並ニ之ニ對スル國際的政情ノ推移ヲ念ヒ此際此狀從ラニ退嬰姑息一日ノ苟安無爲ヲ貪ルハ眞ニ日支ノ共存共榮ヲ期スル所以ニアラスト思料シ即チ此ノ窮極ニ立チテ一道ノ活路ヲ求ムルハ將ニ吾々當然ノ任務ニシテ亦本提出ノ外ナキヲ確信シ茲ニ謹テ奉請願候也

追中、本團ニ附屬シ民團財政ノ現狀ヲ數字的ニ明瞭ナラシムル爲メ書類添付ノ答ニ有之候モ本年五

月提出シ本團債延期請願書ニ添付シタル數字ハ昭和五年決算期ヲ經タル今日幾分ノ異動アルヲ免カレサルモ大體ニ於テ大差無之候ニ付右御參照被下度此段申添候也

一〇、第九團債還年度割高變更及利子支拂延期方橫濱正金銀行へ交渉ノ件

橫濱正金銀行ニ對スル第九團債ハ契約ニ違ヒ既ニ六年度分ハ償還シタルモ將來ヲ按ズルニ近來租界内家屋建築ノ激増ハ道路築造ノ必要ヲ生ジ又永定河水利工事ニヨリ白河々情ノ回復ハ繫船設備ノ急成ヲ要スル事情トナリタルヲ以テ之等資金ノ融通上該團債還年度割高ノ變更方ヲ同行ニ對シ願出テタルモ折返シ同行ヨリ應ジ難キ旨回答ニ接シタリ

昭和六年十月二十四日

天津居留民團 行政委員長 上野 壽

株式會社橫濱正金銀行 御中

拜啓貴社益々御隆昌ノ段奉慶賀候者貴社ニ對スル弊民團々債ハ昭和五年六月二十四日附契約ニ基キ本年度ヨリ昭和拾年ニ至ル五箇年間ニ豫定額ノ元利金ヲ分割償還可致答ニ相成居既ニ本年度分ハ無滞滞履行致シ今後其民團財政ノ現狀ヲ以テシテ不可抗ノ事變發生セザル限リ期限ノ延長等ヲ懇請スル如キハ萬々無之義ト確信仕候者併民團々債ノ自體ノ使命ニ省ミ時運ノ變轉ニ伴フ行政施設モ亦自ラ伸縮アルヲ免カレサルハ御承知ノ次第ニ御座候處實例ヲ以テセハ契約當初財界不況ノ故ヲ以テ幾數年間ハ租界内ニ家屋ノ充實不可罷ナリト思惟シタルニ拘ハラス現在ニテハ殆ント空

地ナク家屋構比シ爲メニ急進進路完成ノ必要ヲ痛感シ來ルカ如キ或ハ我埠頭ニ於ケル繫船ハ海河泥塞ノ結果殆ンド絕望視セラレタルニ四圍ノ事情ハ遠ク船塢遷移ノ可能ヲ承認シ陸上設備ノ急ヲ告グルニ至リシ如キ狀レモ文化的ニ生産的ニ放棄シ能ハサル緊要施設ナルモ民團財政ノ現狀ハ從來ノ如キ豫定以上ノ自然増収ヲ以テ臨機施設ノ完成ヲ期シ能ハサル事情ニ有之候ハ甚ク勝手ケ開闢申出ニ以テ臨機公共の建設ノ活用ニ資セシメラレ度別紙參考書相添ヘ此段御願申上候向亦此際御諒察承認ヲ得度ハ契約上毎年納清期ハ六月ニ決定セラレ居候モ右ハ年度初期ニシテ前年度繰越金ニ餘裕ナキ限リ納清上頭ル困難ヲ感シ候ニ付此機會ニ於テ右辦清期ヲ毎年十二月ニ變更方御承諾被下度併シテ奉請願候也

謹テ明年年度豫算作製ノ都合モ有之候ニ付可相成至急何分ノ御回答ヲ仰キ處爲念此段申添候也

敬 具

七年 度 拾貳萬弗也

八年 度 拾參萬弗也

九年 度 拾五萬弗也

十年 度 拾五萬弗也

昭和六年拾壹月貳拾七日

天津居留民團 行政委員長 上野 壽

橫濱正金銀行天津支店

拜 啓

貴民團ニ對スル當店貸付銀現存高銀五拾五萬弗ノ分割辨濟額並ニ其拂込期日變更方ニ關スル件
右ニ關シ十月二十四日附書信天民乙第三五三號ヲ以テ御申出ノ趣早速頭取席ニ具陳意圖開合セ候
處左ノ通り回答ニ接シ申候間何卒不惠御承上ノ契約通り御支拂方御手配被成下度此致貴答迄得
貴意候 敬具

「本貸付銀ハ御承知ノ通り財團法人天津共益會ガ電氣事業收益金ヲ以テ辨濟スル約定ニテ貸出シ
タルモノニ有之而モ共益會ノ辨濟計畫ノ契約第五條ニ明記シテ御申出ノ趣早速頭取席ニ具陳意圖開合セ候
付民團出入ノ關係ガ辨濟影響スベキ管ノモノニ無之殊ニ契約締結後備ニ一年餘ニシテ忽チ其主
要條項ヲ改變スルコトハ當初承諾シタル本意ニ無之候間折角ノ申出ナルモ當方同意出來候間此
旨先方へ御挨拶被成下度」
然ルニ之等交渉中十一月八日突如天津事變ノ影響アリ租界經濟ハ未曾有ノ打撃ヲ蒙リ民團財政亦
深刻ナル悲境ニ陥リタルヲ以テ取敢ヘズ十一月期日タル子ノ支拂延期方交渉シ承諾ヲ得タリ
昭和六年十二月三日

天津居留民團
行政委員長 上野 壽

(53)

(54)

橫濱正金銀行 御中

拜啓貴社益々御繁榮發達陳者去十月二十四日付以書面貴行當地支店ヲ經テ及懇請貴行ニ對
スル當民團々債分割辨濟方變更ノ件去月二十七日付以テ御同意難相成旨御回答ニ接シ候處仕候

然ル處右御依頼ノ趣旨ハ民團ノ緊急應救ヲ必要トスル財政の見地ヨリ申出候儀ニテ他日更メテ情
ヲ其御理解ヲ得度存居候處端ナクモ客月八日突如トシテ當地ニ事變勃發シ以來租界ハ彈雨ノ衝
ト化シ邦人ノ内地へ引揚ケタルモノ無慮千餘名租界在住中國人ノ避難スルモノ約八割以上商戶
ハ鎖サレ交通ハ遮斷シ租界ハ文字通り死ノ街ト化シ去リ今尙ホ時時タル戒嚴令トニテ民團
ノ公課金ハ勿論共益會唯一ノ財源ナル電氣料金、土地使用料ノ如キ何レモ收入全ク杜絶現ニ本月
分ノ經費スラ共益會ト協力漸ク之ヲ維持シ得ル實狀ニ有之候ニ付今後ノ財政方針トシテモ一月時局
ノ推移ニ際リ即今何等ノ撥斷ヲ許サス就テハ實行ニ對スル團債元金支拂ノ就テハ時局平靜ヲ俟テ
正確ナル調査資料ヲ基礎トシ改メテ何分ノ御協議御理解ヲ得ヘク存居候モ尙當リ本月支拂期ニ相
成居候利息支拂ノ一時猶豫方不取敢御承認被成下度此致行政委員會ノ決議ニヨリ懇請仕候也并具

一、共益會事務分擔ノ件

昨年七月設立アリタル財團法人天津共益會ハ昨年中ニ於テ略々其設立ニ關スル事務ヲ畢リタルヲ
以テ事務所及事務員ヲ民團ヨリ分擔スル事トナリ事務所ハ民團舊土木課室ヲ之ニ充テ三月八日入
替ヘ移轉ヲ行ヒ又事務員ハ民團吏員中今井書記外二十六名共益會ニ配屬スル事トナリ二月一日付
ヲ以テ夫々民團解職令ヲ交付シ共益會事務ノ具體的分擔ヲ了セリ

二、埠頭課事務所開設ノ件

埠頭委員會並ニ民會議決ニ基キ埠頭規則ノ改訂ヲ見又多年懸案トナリ居リタル天津港々城ヲ金湯
橋迄擴張ヲ主眼トセル天津港則モ四月十六日付ヲ以テ發布アリ茲ニ日本租界埠頭利用ヲ促進スベ

キ機運到來セルヲ以テ豫テ新築ノマ、使用ナカリシ舊陸軍倉庫地域内ノ埠頭事務所ヲ五月六日開
設シ爾後埠頭事務ヲ同所ニ於テ取扱フ事トナリタリ

三、臨時民會

本年十二月二十日午後一時於公會堂第二十九次居留民會臨時會開會左ノ議案を可決シ委員の選舉
を行ふ

- 第一、事變による損害救済金調達の件
- 第二、警備費國庫補助請願の件
- 第三、行政委員選舉
- 第四、豫備行政委員選舉
- 第五、民團會計検査委員選舉

四、銀價暴落ニ對スル臨時手當増額ノ件

昨年八月ヨリ銀價暴落ニ對スル臨時手當トシテ更員ニ對シ月俸銀百弗以下ノ者ニ一割百弗以上ノ
者ニ五分ニ相當スル額ヲ支給スル事トナリタルガ其後銀價ハ引續キ漸落シ本年二月ニ入りテハ遂
ニ相場貳百四十弗ヲ突破シ之ニ伴ヒ市中諸物價亦暴騰セルヨリ行政委員會ハ一般趨勢ニ鑑ミ臨時
手當増額ヲ決議シ三月開會通常民會ノ協賛ヲ經テ四月ヨリ月俸銀百弗迄參割百弗以上貳百弗迄
壹割貳百弗以上五分ヲ増額支給スル事トナリタリ

五、天津共立學校補助金ノ件

天津共立學校經費不足ノタメ昭和六年度ニ於テ前年度補助銀九千弗ヲ壹萬二千五百弗ニ増額及所
要建築物添設臨時費トシテ參萬五千弗補助支給方同校ヨリ請願アリタルニ對シ行政委員會ハ審議
ノ結果經常費補助トシテ銀壹萬四千八百弗支給ヲ至當ト認メ又校舍増築費トシテハ銀參萬五千弗
ヲ昭和六年度以降昭和九年度迄ニ積立テ特別會計トシ之ガ支出ハ行政委員會一任トシ昭和六年度
ニ於テ先づ壹萬弗ヲ積立ツベキ案ヲ樹テ之ヲ六年度通常民會ニ諮 可決ヲ見タリ

六、漢口居留民團へ水災見舞金贈呈ノ件

長江氾濫ノタメ漢口日本租界浸水危機ニ陥ルトノ報ニ接セシヨ、行政委員會ハ臨時開會シ同地居
留民團ニ對シ見舞金贈呈ノ件ヲ決議シ尙天津共益會ト圖、同會ヨ、銀壹千弗當民團ヨ、銀貳千弗
合計銀參千弗ヲ八月十九日橫濱正金銀行支店ヲ通シ漢口居留民團宛送呈セリ又當地天津日報
社及京津日々新聞社主催ノ漢口在留邦人見舞金募集ニ對シ當民團ハ之ガ募集受附及送金事務ヲ擔
當シ此舉ヲ援助セリ
之等ニ對シ九月三日付ヲ以テ漢口居留民團行政委員長居川榮世氏ヨ、上野當行政委員長宛宛
重ナル禮狀ニ接シタリ

七、義勇隊及警察署員へ事變慰勞金贈呈ノ件

天津事變ニ際シ軍ノ警備ヲ助ケ晝夜ノ間ナク一意租界ノタメニ活動セル義勇隊員及警察署員ニ對

(55)

(56)

シ、總務ノ意ヲ以テ十一月十五日義勇隊へ銀壹千弗警察俱樂部へ銀貳百弗及巡捕へ銀四百弗ヲ贈呈セリ

一八、滿洲及天津事變ニ關スル件

九月十九日奉天ニ於テ日支兵衝突シ俄然日支關係緊張ヲ見ルニ至リシヨリ行政委員會ハ直ニ臨時會ヲ開キ當地ニ於ケル警備ノ方法ニツキ協議シ更ニ領事館及駐屯軍ト諮リ二十四日民國會議室ニ於テ領事館、駐屯軍、共益會、義勇隊、一船居留民及民間各方面ノ代表者ヲ網羅セル事變對策協議會ヲ開キ萬一事變方當地ニ及ボセル場合ニ於ケル居留民避難其ノ他ノ對策ニツキ大體方針ヲ樹テ民國ハ之ニ基キ避難方法案ヲ作り各町内代表ヲ通ジ全居留民ニ報知セリ尙萬一日本租界ガ孤立ニ陥レル場合食糧品ノ不足スベキヲ虞レ軍ヲ通ジ大連其ノ他ヨリ味糧、醬油、澤麻、蠶繭、糖、麵粉等ヲ購入シ非常時ニ備フルコト、セリ

コトナリテ即死シ又曙街通行中ノ岡田彌子氏ニ命中死ニ至ラシメタルヲ以テ強姦自軍セル我軍モ九日早曉迫撃砲其他ヲテ應射ヲ開始シ境界附近ノ危險掃蕩ヲ努メタリ

(58)

(57)

(60)

(59)

ガ此ノ間民國トシテハ租界回復策ノ關心シ共益會、商業會議所ト聯合シ事變善後委員會ヲ開キ對策ヲ講究シ又一般被審調査、臨時年末貸付等ヲ行ヒタリ(財務部報告参照)

Table with columns for date (十一月九日 to 十九日), school (小學校), hospital (舊共立病院), kindergarten (幼稚園), other (其他), and total (計). Includes a note '◎印最多'.

Table with columns for date (十二月一日 to 三十日), school (小學校), hospital (舊共立病院), kindergarten (幼稚園), other (其他), and total (計). Includes a note '(以上公費食糧給與ノ分)'.

自十二月二日 一 二六 一 一 七八〇
至同 三十一日 一 一三三三七名
合計 (民間取扱收容者延人員)

備考

一、其他、收容所ハ榮街舊江南公司、金光教會、妙法寺、東興樓等、主トシ其他知口友人、宅ニ任意避難シ食糧、給與ヲ受ケザルシモノハ示サズ
二、舊共立病院ニハ鮮人避難者ノミヲ收容セルガ十二月廿五日ヨリハ同所ノ軍ニ於テ使用スル事トナシタルヲ以テ之ヲ發電所ニ移シタリ
之等二十六名ハ年末ニ至ルモ警備線ノ障礙ア、シメ歸宅叶ハズ年ヲ越シタリ

一九、義勇隊に關する件

イ、隊員の異動

本隊々員は現在六百二十一名なり本年度に於ける入隊者は二百五十八名にして退隊者四十一名昨年未當時の四百四名に對し二百十九名増加せるは十一月八日に物故せる天津事變に際し各自奉公の念より進んで入隊を申込み者激増したる結果なり

ロ、教育及訓練

本年度は經費節約の見地より計畫的の訓練を中止したれ共春季射撃會は在郷軍人會と合同にて五月十八日に實施し概ね成績の向上を見たり尙秋末より日支の風雲險惡の濃度を加へ來たりし爲め租界危險の場合に備ふる可く十月十六日より全月二十七日迄の間駐屯軍に依りて毎朝午

(62)

(61)

前七時より軍事教育及新兵器の實地操法の訓練を實施し毎回七、八十名の出席を見たる爲め隊員訓練上多大の成績を挙げたり

ハ、幹部の異動

免本部部長兼總務主任 松本文三郎
任本部部長兼總務主任 中島徳次
免警備班長 安田澁然
任警備班長 鈴木和雄
免本部庶務主任 土屋利兵衛
任本部兵器主任 岡村又五郎
免本部兵器主任 岡村又五郎

ニ、隊員の表彰及弔慰

十一月八日當地天津事變勃發するや即時應召し皇軍の第一線に附屬して誠實に本隊の任務を盡したる兩氏が徴兵又は不仕得ざる事情に因り中途歸國するに當り特に之が表彰をなす事とし各々表彰狀を交付したり

警備第一中隊員 吉田定夫
警備第三中隊 田中久光
弔慰に就ては本年左の諸氏逝去に際し弔詞を呈し靈前に供花して弔意を表せり
四月四日 西山 銃雄

(64)

(63)

ホ、事變の際當隊の活動

五月四日 中村常三郎
五月五日 松田市右衛門
五月十八日 水田諒一
八月二十七日 土手野昇
十一月二十六日 徳永貞夫
滿洲事變の際當隊は天津に於ける日支間の風雲漸々險惡の度を加へつゝありしが終に十一月八日の夜に至り反張派便衣隊と支那正規兵との衝突となりたるを以て直ちに當隊に總動員下命あり即時非常召集を行ひたるに奉公の義憤により家をすて、應召せるもの二百餘名新たに入隊申込をなせる者實に二百數十名に達し集結と伴に軍司令官の部下に入り現編成の外に警備班として獨立白井隊を増置し或は砲兵班を増設又は防備作業の援助として一時的の士氣班を設くる等軍の命令に依り各々其の任務遂行に全力を盡したり斯くて連日不眠不休の活動を續けたりしが一時事態も稍々平靜に見えたるを以て全月二十六日本隊は一時動員解除を命ぜられたり然るに同夜再び事態の危急を告げ租界に砲聲を聞くに及び第二次動員下令したるを以て隊員は速念本部に集合し本務に照したる者實に五百餘名に達し軍司令官より「隸下ヲ解ク」の命令を接したる十一月三十一日迄の間連日連夜の奮闘を續け義勇隊本來の使命を全うし多大の功績を挙げ得たりと言ふ可く斯くて十一月二十六日第一次出動解除式に際し支那駐屯軍司令官香樺浩ハ閣下より左の感謝狀を附與せらるゝの光榮に浴せり

感謝狀

天津日本義勇隊

今次天津ニ動亂勃發シ日支交戰状態ニ陥ル
天津日本義勇隊ハ予ノ隸下ニ入り隊員軍ノ警備通譯其他諸般ノ勤務ニ服シ以テ軍ノ租界保護ニ至大ノ援助ヲ與ヘタリ殊ニ其ノ家業ヲ棄テテ銃伍ニ列シ常ニ銃火ノ下ニ活動シ雨露ヲ凌キ沆寒ニ耐ヘ幾多ノ困苦缺乏ニ甘シ日夜精勵シタルハ是レ畢竟義勇隊各位ノ献身奉公ノ誠誠ノ發露ニシテ其ノ功績實ニ大ナリ茲ニ厚ク感謝ノ意ヲ表ス
昭和六年十一月二十六日
支那駐屯軍司令官
陸軍中將 勳四位 香樺浩
功四級

ハ、本隊の經理

昭和六年度豫算經常部銀千參百弗にして拾二月末現在支出額合計銀八百五拾參弗七拾參仙殘額銀四百拾六弗貳拾七仙なり殘額に對しては可及的節約を實行し多少なり共翌年度歳入の一端に資せんとす
ト、本隊の器具及冬期被服
本隊の器具及被服は事變非常出動の場合特別の取計ひにより軍部より貸與せられたるも適當の時機に於て出動に支障なき程度の整備を要するものと思考す。

第二、財務部

一、出納検査

本年ニ於ケル出納検査ハ一月二十二日五年度第三期分六月二十三日同第四期分九月十日同第四期分及六年度第一期分十月十四日同第二期分検査ヲ施行セラレ違法ヲ再納並ニ還算ナキコトヲ確認セラレタリ

二、民團課金、其他徴収状況

本年度徴収成績ニ就テハ打續ク財界ノ不況、並ニ日貨運動ノ影響ニ加ヘテ未曾有ノ銀價暴落ニ直面スルノ受難ナル年度ニ當リ之レガ對策トシテ年度始メ課金調査委員會ニ於テ課金種別ニ依ル負擔者側ノ經濟的實情ヲ詳細に調査シ、賦課率ヲ修正サレ、爲メニ前半期ニ於テハ圓滑ナル徴収成績ヲ得タリシモ、九月中旬滿洲事變勃發、以テ中國人ノ轉出者漸次其ノ數ヲ増スト共ニ工運費衛生費等賦課徴收ノ上ニ於テ支障ヲ來タスコト、ナリタリシニ加ニテ適々十一月八日第一次續テ全月二十六日第二次ノ突發事變ニ際シ、租界内ハ恰モ戰場ノ觀ヲ呈シ、日支ノ大小商舖悉ク閉店シ各戸等シク其ノ業務ヲ顧ミルノ途ナク只避難或ハ之等ノ用務、携ルノミテ而カモ大半ノ中國在住者ハ家財ヲ運メ轉出スルニ至リ其間徴收事務ノ如キモ自然中絶頓挫ノ已ムナキニ至リ以來年未迄ニ於テ日本人商店ハ略全部ノ復活閉店ヲ觀タルモ中國商舖ハ一般、納時局ヲ紀憂シテ閉店シテ盡間ノ間店セルモノ半數ニ過キズ中藥、同慶茶園ノ如ク夜間ヲ主トスル營業者スラモ日没ニ至レバ婦女ハ他租界ニ轉スル有様ニテ從テ一般商舖住宅ハ夜間ハ悉ク閉鎖ヲ經テ繁華ノ北地街方面

(78)

(77)

科	目	豫算額	確定済收入現況	四期分額	確定合計	豫算ト確定比較
第一款	居留民團課金	10,500,000.00	10,500,000.00	10,500,000.00	10,500,000.00	0.00
一、	土地課金	10,500,000.00	10,500,000.00	10,500,000.00	10,500,000.00	0.00
二、	家屋課金	10,500,000.00	10,500,000.00	10,500,000.00	10,500,000.00	0.00
三、	取得課金	10,500,000.00	10,500,000.00	10,500,000.00	10,500,000.00	0.00

ニ於テモ老九章ヲ始メ大店舖ハ全ク閉店セルモノモ夜間ハ「ウインド」ニ燈ヲモ認メザリ狀態ニシテ眞ニ寧々タルモノナリ又租界西部住宅地方面ニ於テモ永久的ノ轉出者ハ勿論難ノタメ一時他租界ニ轉出シタル者ト雖モ容易ニ歸來ノ氣配ヲ欠クニハ永久的ノ轉出者ノ數ニ加ハル等誠ニ事變後ノ徴収成績ハ運々トシテ更ニ進歩ヲ見ザル狀態ニアル之ヲ簡單ニ重言スレバ事變ニヨリ及其後ニ於テ頻りに放シタル流弊ニ對シテ一般中國人ハ日本租界ヲ安住ノ地トセズニ他租界ニ轉出スルモノ續出シ其爲メ大小雜貨商及貸家業者等ノ受クル損失甚シク自然租界内ノ經濟ハ一般ニ疲弊ヲ來タン民團課金ニ於テモ亦水道料、工運、衛生、藥費課金ノ如ク直接減收トナリシモノト家庭營業課金ノ如ク間接ニ減收トナリシモノノ其他使用料、手数料等減入一切舉テ悉ク減收ヲラザルハナシ

今年十二月末ニ於ケル徴收ノ成績ヲ示シ左ノ如シ

(一) 昭和六年度民團課金其他徴収現況表(昭和六年現在)

(80)

(79)

一、	道路使用料	1,000.00	56.77	1,000.00	56.77	0.00
二、	水道料	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	0.00
三、	土地賃下料	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	0.00
第七款	埠頭收入	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	0.00
一、	繫船料	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	0.00
二、	埠頭置場料	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	0.00
三、	埠頭使用料	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	0.00
第八款	衛生費	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	0.00
一、	衛生費徴收金	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	0.00
第九款	手数料	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	0.00
一、	營業人力車	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	0.00
二、	馬車	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	0.00
三、	自用人力車	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	0.00
四、	自動自轉車	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	0.00
五、	自動自轉車	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	0.00

四、	營業課金	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	0.00
第二款	雜種課金	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	0.00
一、	日本藝妓	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	0.00
二、	中國藝妓	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	0.00
三、	酌婦	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	0.00
四、	常設興行	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	0.00
五、	臨時興行	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	0.00
六、	臨時興行	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	0.00
第三款	特別課金	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	0.00
一、	特別課金	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	0.00
第四款	不動産取得稅	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	0.00
一、	不動産取得稅	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	0.00
第五款	工巡費	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	0.00
一、	工巡費	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	0.00
第六款	使用料	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	0.00

(82)

(81)

六、大車	七、中車	八、小車	九、行商	第十款、財產出主收入	第十一款、自來水公司	第十二款、利息	第十三款、給水工專費	第十四款、水道計費	第十五款、給水工專費	第十六款、雜收入	第十七款、貸家料	第十八款、大和街撤水費	第十九款、請願進補	合計
1,100,000.00	1,100,000.00	1,100,000.00	1,100,000.00	1,100,000.00	1,100,000.00	1,100,000.00	1,100,000.00	1,100,000.00	1,100,000.00	1,100,000.00	1,100,000.00	1,100,000.00	1,100,000.00	11,000,000.00

備考 一、土地課金豫算。對シ測定額ノ増シヲハ從來、地價計算ハ時價ノ十分ノ四算出シテ十分ノ五ニ修正ノ結果アリ
 二、家屋課金豫算。對シ測定額ノ減シヲハ從來、賦課率百分ノ三ヲ百分ノ四ト改正サレ推定家賃計ハ建物價格ノ一、五掛ナリシヲ、一、掛ニ修正ノ結果ナリ
 三、取得課金、營業課金ノ測定額ノ増シハ負擔者増加ノ結果ナリ
 四、本表合計豫算比較銀一七、四三七、九二仙ヲ減示シテ巴ニ測定額未済銀額一〇、三三八、〇七仙アリ、毎年々度賦課期迄ニ徵收不能欠損トナルベキノモノ及未收繰越淨額一萬數千弗ニ達セリガ常例ノヲ以テ、本年度徵收ハ年内ニ於ケル諸般ノ事情ト之レニ影響ヲ蒙ツ、ケル徵收狀況ト鑑ミ近々時態ハ復舊ヲ豫想スト雖モ尙或ハ前年度ニ倍加ノ各種未收額ヲ見ルニ至ルベキナリ

(84)

(83)

科目	過年度民團課金及使用料衛生費等滞納現況表(昭和六年十二月末現在)			
	昭和五年度	昭和四年度	昭和三年度	昭和二年度
土地課金	1,095,500	1,095,500	1,095,500	1,095,500
家屋課金	5,043,500	5,043,500	5,043,500	5,043,500
取得課金	3,200,000	3,200,000	3,200,000	3,200,000
營業課金	2,900,000	2,900,000	2,900,000	2,900,000
計	12,139,000	12,139,000	12,139,000	12,139,000

三、電車公司及水道公司並ニ製氷冷蔵會社利益配當ノ件
 (イ) 電車敷設償還契約ニヨリ電車公司ヨリ配當ヲ受ケタル金額ハ銀壹萬壹千八百四拾五弗貳拾仙ニシテ前年ニ比シ銀貳百五拾六弗〇七仙ノ減收ナリ
 (ロ) 天津濟安自來水公司持株五十五株込銀五、五〇〇兩ニ對スル利益配當ハ同公司決算事務
 過延ノクテ現在未收入ノモノ銀四百九拾五兩配當ノ通告ニ接セリ
 天津製氷冷蔵株式會社ハ持株二千株ニ對シ配當ナシ

四、民團課金雜種課金及工巡費負擔者數

金額	日本人	支那人	外國人	計
七千弗以上	二	〇	〇	二
六千弗以上	一	一	〇	二
五千弗以上	一	一	〇	二
四百弗以上	一	一	〇	二
三百弗以上	一	一	〇	二
二百弗以上	一	一	〇	二
一百弗以上	一	一	〇	二
八十弗以上	一	一	〇	二
合計	三	二	〇	五

(86)

(85)

而シテ日、支、外人別負擔額左ノ如シ		計	
六十弗以上	三	八	一一
五十弗以上	一〇	五	一五
三十弗以上	五	六	一一
十弗以上	二	九	一〇
十弗以下	一六三	五四三	七〇八
計			
日本人	銀貳萬九千〇八拾五弗六拾九仙也		
支那人	銀六萬八千壹百七拾貳弗九拾八仙也		

而シテ日、支、外人別負擔額左ノ如シ		計	
六十弗以上	三	八	一一
五十弗以上	一〇	五	一五
三十弗以上	五	六	一一
十弗以上	二	九	一〇
十弗以下	一六三	五四三	七〇八
計			
日本人	銀貳萬九千〇八拾五弗六拾九仙也		
支那人	銀六萬八千壹百七拾貳弗九拾八仙也		

(88)

(87)

而シテ日、支、外人別負擔額左ノ如シ		計	
二十級	二	二	四
三十級	二	二	四
四十級	〇	〇	〇
五十級	〇	〇	〇
六十級	〇	〇	〇
七十級	〇	〇	〇
八十級	〇	〇	〇
九十級	一	一	一
計			
日本人	銀壹萬〇六百九拾壹弗參拾壹仙也		
支那人	銀四百拾四弗貳拾仙也		

而シテ日、支、外人別負擔額左ノ如シ		計	
二十弗以上	二	二	四
三十弗以上	二	二	四
四十弗以上	〇	〇	〇
五十弗以上	〇	〇	〇
六十弗以上	〇	〇	〇
七十弗以上	〇	〇	〇
八十弗以上	〇	〇	〇
九十弗以上	一	一	一
計			
日本人	銀壹萬〇六百九拾壹弗參拾壹仙也		
支那人	銀四百拾四弗貳拾仙也		

(93)

又、昭和六年中月額鑑札發行表

月別	營業客馬車	馬車	中車	小車	行商	行商	行商
一月	七六〇	二九〇	二〇〇	四〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇
二月	七六〇	二九〇	二〇〇	四〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇
三月	七六〇	二九〇	二〇〇	四〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇
四月	七六〇	二九〇	二〇〇	四〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇
五月	七六〇	二九〇	二〇〇	四〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇
六月	七六〇	二九〇	二〇〇	四〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇
七月	七六〇	二九〇	二〇〇	四〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇
八月	七六〇	二九〇	二〇〇	四〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇
計	七六〇	二九〇	二〇〇	四〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇

鮮妓四名分酌婦ニ改稱ニ付含マズ
前年ニ比シテ四名減マズ

(94)

九、昭和六年中月額鑑札發行表

月別	營業客馬車	馬車	中車	小車	行商	行商	行商
九月	七六〇	二九〇	二〇〇	四〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇
十月	七六〇	二九〇	二〇〇	四〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇
十一月	七六〇	二九〇	二〇〇	四〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇
十二月	七六〇	二九〇	二〇〇	四〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇
計	七六〇	二九〇	二〇〇	四〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇

總計 額金 四四四、〇〇〇 發行數 一、七四四、〇〇〇

料金總計 一、八〇〇、〇〇〇

備考
一、八〇〇、〇〇〇
九、〇〇〇
三、〇〇〇
三、〇〇〇
一、〇〇〇
三、〇〇〇
三、〇〇〇

(95)

五、各種寄附金

イ、消防被服寄附金	(金勘定)	前年末現在高
ロ、金壹百參拾四圓四拾六錢也	前年未現在高	預金利息受入
ハ、ナシ	現	在
計金壹百參拾四圓四拾六錢也	(銀勘定)	前年末現在高
イ、警備費寄附金	前年未現在高	預金利息受入
ロ、銀壹百九拾八圓四拾六仙也	現	在
ハ、銀貳百參拾壹仙也	(銀勘定)	前年末現在高
ニ、銀貳百七拾七仙也	前年未現在高	預金利息受入
ホ、埠頭築造費寄附金	現	在
ヘ、銀參百拾六圓五拾七仙也	(銀勘定)	前年末現在高
ニ、銀參百拾六圓五拾七仙也	前年未現在高	預金利息受入
ニ、義勇隊寄附金	現	在
イ、銀參百拾九圓八拾參仙也	(銀勘定)	前年末現在高
ニ、義勇隊寄附金	現	在

(96)

六、課金調査委員會

昭和五年十二月十二日昭和六年課金調査委員トシテ左記ノ通り依囑セラル

井高岩一郎 池田兵七 小倉知正 金山喜八郎

一、銀壹千六百〇八圓六拾仙也	母ノ會外寄附
計銀壹千六百〇八圓六拾仙也	義勇隊員加給品(標準菓子其他)
一、銀壹百七拾四圓四拾仙也	現
計銀壹百七拾四圓四拾仙也	在
一、別口銀五千円也義勇隊寄附金トシテ駐屯軍ヨリ寄附アリタルモ現金未收ニ付計算セズ	高
ホ、朝鮮人保護寄附金	(銀勘定)
一、銀五拾円也	松島親造氏寄附
計銀五拾円也	貧困者歸國旅費
一、銀拾七円也	現
計銀拾七円也	在
一、差引銀參拾參円也	高

(98)

(97)

<p>一、昭和五年取得課金(追加五) 査定ノ件 全 營業課金(追加七) 査定ノ件 昭五年年度家屋課金決定ニ對シ異議申立ニ付再査定ノ件 全 取得課金決定ニ對シ異議申立ニ付再査定ノ件 昭五年四月十六日</p> <p>一、地價修正査定ノ件 昭五年四月二十三日</p> <p>一、地價修正査定ノ件 昭五年五月七日</p> <p>一、昭和六年度營業課金査定ノ件 昭五年五月八日</p> <p>一、昭和六年度營業課金査定ノ件 昭五年五月十二日</p> <p>一、昭和六年度營業課金査定ノ件 昭五年五月十九日</p> <p>一、昭和六年度取得課金査定ノ件 昭五年六月二日</p>	<p>高橋英之助 田中鑄太郎 武田守信 武内進三 竹下重太 副田重次郎 永安平吉 山尾市二郎 山上逸 松本京作 小谷万治郎 赤山今朝治 清水一太郎 森郁太郎</p> <p>昭五年十二月十八日</p> <p>一、課金調査委員長選舉 全 副委員長選舉</p> <p>一、昭和五年年度營業課金(追加五) 査定ノ件 全 取得課金(追加八) 査定ノ件 全 營業課金(追加六) 査定ノ件 昭五年一月二十九日</p> <p>一、昭和五年年度土地課金(追加一) 財團所有土地査定ノ件 全 家屋課金(追加六) 査定ノ件</p> <p>一、稅制修正案審議ノ件 昭五年二月五日</p> <p>一、稅制修正案審議ノ件 昭五年三月五日</p> <p>一、諸車鑿札條例改正ノ件 昭五年三月十九日</p>	<p>原案通過査定 全</p> <p>保 留</p> <p>一部修正査定</p> <p>次回ニ繼續</p> <p>昭五年四月二十三日 前同共ニ一部修正査定</p> <p>昭五年五月七日 次回ニ繼續</p> <p>昭五年五月八日 次回ニ繼續</p> <p>昭五年五月十二日 前二回共ニ一部修正査定</p> <p>昭五年五月十九日 一部修正査定</p> <p>昭五年六月二日 一部修正査定</p>	<p>赤山委員當選 非高委員當選</p> <p>原案通過査定 全</p> <p>一部修正査定</p> <p>原案通過査定</p> <p>全</p> <p>次回ニ繼續</p> <p>前二回共ニ一部修正査定</p> <p>原案一部修正査定</p>
--	---	--	---

(100)

(99)

<p>一、昭和六年度取得課金決定額再査定ノ件 全 取得課金査定ノ件(中國人) 全 營業課金査定ノ件(中國人) 全 工巡費査定ノ件(中國人) 昭五年六月十八日</p> <p>一、昭和六年度家屋課金査定ノ件 昭五年七月二日</p> <p>一、昭和六年度營業課金(追加一) 査定ノ件 全 取得課金(追加二) 査定ノ件 昭五年七月十三日</p> <p>一、昭和六年度營業課金(追加二) 査定ノ件 昭五年七月十三日</p> <p>一、昭和六年度營業課金決定ニ對シ異議申立ニ付再査定ノ件 全 家屋課金 全</p> <p>一、土地課金 全</p> <p>一、課金調査委員長(赤山委員長行政委)選舉 全 副委員長(非高副委員長委員)選舉 昭五年八月四日</p>	<p>昭五年八月二十日</p> <p>一、昭和六年度取得課金(追加三) 査定ノ件 全 家屋課金(追加一) 査定ノ件 全 決定ニ對シ異議申立ニ付再決定ノ件</p> <p>一、營業課金決定ニ對シ異議申立ニ付再決定ノ件 全 工巡費決定ニ對シ異議申立ニ付再決定ノ件 昭五年九月十七日</p> <p>一、昭和六年度營業課金(追加三) 査定ノ件 全 家屋課金決定ニ對シ異議申立ニ付再査定</p> <p>一、家屋課金(追加二) 査定ノ件 昭五年十月十五日</p> <p>一、昭和六年度取得課金(追加四) 査定ノ件 全 工巡費(追加二) 査定ノ件</p>	<p>原案一部修正査定 全</p> <p>原案通過査定</p> <p>原案通過査定</p> <p>原案一部修正査定 全</p> <p>原案通過査定</p> <p>原案通過査定</p> <p>全</p> <p>原案通過査定</p> <p>昭五年六月十八日 原案通過査定</p> <p>昭五年七月二日 原案通過査定</p> <p>昭五年七月十三日 原案一部修正査定</p> <p>昭五年七月十三日 原案通過査定</p> <p>昭五年七月十三日 全</p> <p>昭五年七月十三日 否 決</p> <p>昭五年八月四日 非高委員當選 永安委員當選</p>	<p>原案通過査定</p> <p>全</p> <p>全</p> <p>全</p> <p>原案通過査定</p> <p>原案通過査定</p> <p>原案通過査定</p> <p>原案一部修正査定</p> <p>原案通過査定</p> <p>原案通過査定</p> <p>原案通過査定</p> <p>原案通過査定</p> <p>原案通過査定</p>
--	---	--	--

六、土地家屋台帳地籍圖ニ關スル事項

(114)

街	山	新	曙	旭	常	榮	花	小
口	口	口	口	口	口	口	口	口
一	五	二	〇	一六	一	三	二	二
一	一四	六三	〇	四〇	二	一七	一	一
六	一九	七五	〇	四二	二	三	一	一
九	五	四	三	八	八	一	九	二

事變ニ依リ移轉
全上一時避難
計
事變前ヨリノ空家

(113)

一〇、天津事變ニ對スル中國人移轉及避難損害調査ノ件

昭和六年十一月八日夜來物變ノ當地事變ハ十一月二十日頃ヨリ小康ヲ迎ケルモ租界内居住ノ中國人ノ移轉及避難者逐日増加シ事變終息後ノ民間行政ニ大影響アルヲ思ハシメタレバ二十四日ヨリ戸口調査ニ着手セリ然ルニ二十六日夜間ヨリ再び混亂狀態ニ陥リタルヲ以テ一時調査ヲ中止シタリ越エテ十二月一日尙或嚴守下ニ臨時狀態ヲ繼續シタルモ漸次平靜ニ歸スルノ曙光ヲ認ムルト共此ノ租界破壊的損害復興ニ當リテハ事變突發ノ十一月八日ヨリ十二月一日ニ至ル期間ヲ一階梯トシ直後ニ於ケル戸口ヲ迅速ニ調査シ直後計數ノ基本資料ニ供スルタメ十二月二日正午ヨリ十二月五日正午

街	香	須	石	淡	加	三	興	住
取	磨	山	路	茂	島	島	津	吉
二、四三六	二、四五一	八、一八四	三、六五九	二、九〇二	一、七六八	八、一五八	二、九四一	二、九四一
三、二一五	一、六四九	三、七〇四	二、三三四	四、一八二	四、三八四	二、〇八七	二、〇八七	二、〇八七
五、四七九	五、八九八	一、九五八	八、三九一	六、八七二	六、八七二	六、八七二	六、八七二	六、八七二
二、三六二	二、一八六	八、一八四	三、六五九	二、九〇二	一、七六八	八、一五八	二、九四一	二、九四一
三、二一五	一、六四九	三、七〇四	二、三三四	四、一八二	四、三八四	二、〇八七	二、〇八七	二、〇八七
五、四七九	五、八九八	一、九五八	八、三九一	六、八七二	六、八七二	六、八七二	六、八七二	六、八七二

(116)

一、天津事變邦人損害調査ノ件

今次事變ニ對スル邦人損害ニ就テハ事變直後ニ於テ初度調査ヲ迅速ニ了セシメ其ノ概況ヲ發表セラレタルニ被密者ノ申告額ト民間調査額トハ相當ノ開キアリ且ツ申告者ノ損害額ヲ實際的ニ調査スル必要ヲ認メ十二月十八日ヨリ同二十五日迄七日間ニ渉リ係員五名ヲ以テ申告書ヲ基礎トシ將並ニ毎戸ニツキ再調査ヲ實施シタル結果損害額ハ口數「九七六」ニシテ金額額「四九四〇四八」七六仙トナリ初度ノ民間調査額ニ比シ口數「一五」ヲ増シ金額額「四六、七八三」〇四仙ノ増加ヲ示シ初度申告額ニ對シテハ口數「一五」ヲ増シ金額額「三、五五六、〇九九」九仙ノ減差ヲ示セリ依之觀之

人	大	扶	橋	福	桃	伏
口	和	桑	立	島	山	見
二	五	一	二	六	二	一
一	五	二	二	一	三	二
一	六	二	二	一	五	一
一	一	一	一	一	一	一

(115)

街	吾	宮	漢	松	蓬	秋	住	三	淡	須	明	吉	春	橋	英
妻	島	運	島	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山
〇	二六	一七	二一	二七	二七	二七	二七	二七	二七	二七	二七	二七	二七	二七	二七
〇	四七	二二	一四	六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六
〇	七三	三九	三五	三三	二九	二七	二七	二七	二七	二七	二七	二七	二七	二七	二七
三	三九	二	二	九	九	四	二	二	三	三	三	三	三	三	三

(117)

ニ初度ノ申告ハ事變直後ノ爲メ申告者ニ於テ稍々過大視シ相當ノ誤謬計算アリタルモノニシテ時局小廉ト律ニ比較ノ正確ナル計數ヲ示サレタルモノト思フセラル。

要スルニ再調査ノ結果ハ初度ノ民團査定額ニ對シ約銀五萬弗見當ノ増加ニシテ總額銀二百五十萬弗(內引揚避難費銀二四、〇三二、七七一仙)ノ損失額ト見做シ大過ナキモノト考察ス。

事變損害額再調査表 (昭和六年十二月二十八日調)

種別	口數	營業上ノ損失額	避難引揚ニヨル損失額	計
會社及主要商店	四	一、三〇、〇〇〇	一、七四、五七	一、七四、五七
中、小營業者	七四	六、三二、三三	六、八、〇〇〇	一三、一四、三三
勤務者其他個人	一、八〇	一、〇〇、〇〇〇	四、七、〇〇〇	五、七〇、〇〇〇
學校	二	五、〇〇〇	〇	五、〇〇〇
計	九六	一、九六、三三三	一三、五一、五七	一五、四七、九〇六

備考 一、本表ハ事變直後ノ初度調査申告書ヲ基礎トシ十二月十八日ヨリ全二十五日ニ涉リ再調査ヲナシタルモノトス

二、初度調査トノ比較表ノ如シ

事變損害額再調査比較表 (昭和六年十二月二十八日調)

(118)

種別	區分		口數	營業上ノ損失額	全上平均額	避難引揚ニヨル損失額	全上平均額
	實際申告額	再調査額					
會社及主要商店	一、三〇、〇〇〇	一、三〇、〇〇〇	四	一、三〇、〇〇〇	三二、五〇〇	一、七四、五七	四三、六四二
	六、三二、三三	一、〇〇、〇〇〇	七四	一、〇〇、〇〇〇	一三、一四、三三	六、八、〇〇〇	一三、一四、三三
中、小營業者	一、〇〇、〇〇〇	一、〇〇、〇〇〇	一、八〇	一、〇〇、〇〇〇	五、七〇、〇〇〇	四、七、〇〇〇	五、七〇、〇〇〇
	五、〇〇〇	五、〇〇〇	二	五、〇〇〇	二、五〇〇	〇	二、五〇〇
勤務者其他個人	一、〇〇、〇〇〇	一、〇〇、〇〇〇	一、八〇	一、〇〇、〇〇〇	五、七〇、〇〇〇	四、七、〇〇〇	五、七〇、〇〇〇
	一、〇〇、〇〇〇	一、〇〇、〇〇〇	一、八〇	一、〇〇、〇〇〇	五、七〇、〇〇〇	四、七、〇〇〇	五、七〇、〇〇〇
學校	五、〇〇〇	五、〇〇〇	二	五、〇〇〇	二、五〇〇	〇	二、五〇〇
	五、〇〇〇	五、〇〇〇	二	五、〇〇〇	二、五〇〇	〇	二、五〇〇

(119)

備考 一、實際申告額ハ事變直後被害者ヨリ申告セラレタルモノトス

二、民團査定額ハ右申告ヲ査定シタルモノトス

三、再調査額ハ申告書ヲ基礎トシテ戸口ニ付キ再調査ヲナセルモノトス

昭和六年十二月二十八日調

種別	大		小		計		費用一人當リ
	男	女	男	女	男	女	
會社及主要商店	三	二	一	一	四	二	二七六五四
中、小營業者	五九	一七五	二三四	一一五	八七	二〇二	一三四九一
勤務者其他個人	三	七九	八二	二二五	七八	二〇三	一六七六五
學校	一	一	一	一	二	一	一
合計	六五	二八二	三四七	二五七	一八〇	四三七	一五八二〇

(120)

二、事變ニ因ル年末救濟資金貸出取扱情况

本資金貸出ニ關シテハ昭和六年十二月十五日開會ノ民團行政委員會及天津共益會理事會ノ聯合會議ニ於テ

一、本資金ハ救濟貸付ナルヲ以テ性質上共益會ノ事業トス從テ貸付名義人ハ天津共益會代表者トス

二、貸付資金額ハ銀貳萬弗也トシ其出資負擔額ハ天津居留民團銀管萬弗也天津共益會銀管萬弗也トス

三、右資金ハ昭和六年年度歳出經常部雜支出ヨリ拂出シ回收ニ際シテハ當該年度歳入經常部雜收入ニ繰入整理ス

四、貸付途ノ取扱ハ主トシテ民團ニ於テ實施シ爾後ノ回收ニ關スル整理ハ共益會ニ於テス

五、資金貸付條件及取扱方法

一、貸付金額ハ一戸ニ付キ銀壹百弗以內トス

但シ 申込豫定數ヲ超過シタルトキ又ハ査定ノ結果ニヨリ減額若クハ謝絶ス

一、利息 無利息

一、返還方法 昭和七年一月ヨリ五箇月據置以後十箇月ニ月賦返還

一、借受資格 天津居住者ニシテ一家ヲ構ヘタルモノニ限ル

(121)		(122)	
<p>一、申込方法 昭和六年十二月二十二日正午迄は民團備付ノ用紙ニ内容ヲ認メ申込ノ事</p> <p>一、貸出期日 昭和六年十二月二十五日以後</p> <p>右決議ニ基キ十二月十六日臨時ニ取扱係ヲ命ジ貸付廣告申込書、内規、契約書、受領証、帳簿等ヲ定メ即日ヨリ當地天津日報及京津日々新聞紙上ニ三日間ニ渉リ廣告ヲナシ十七日ヨリ申込ニ對スル受付ヲ開始シ十二月二十二日締切迄ニ受付タル件數貳百九拾六件ニ對シ資格ヲ調査シ貸付内規ニヨリ慎重ニ審査シ貸付決定書ヲ經テ借受決定者貳百七拾六名及附屬者二十名ニ對シ夫々通知狀ヲ發送シ貸付金契約書及受領証貸出取付順序ヲ定メ十二月二十五日午前九時ヨリ係長六名ヲ以テ貸出事務ヲ取扱ヒ午後四時締切當日交付未済分拾五件ニ對シテハ二十六日以後二十八日迄ニ懸持貸付ヲ了シ關係證書及領表等一切ヲ天津共益會ニ引續キテリ</p> <p>本資金貸付取扱書類及證書書目左ノ如シ(様式及内容省略ス)</p> <p>一、年末救済資金取扱ニ關スル日誌及報告書綴</p> <p>一、年末救済資金借受申込書綴</p> <p>一、全 貸付決定書綴</p> <p>一、全 金錢消費貸借契約證書正本綴(副本ハ借受者ニ交付ス)</p> <p>一、全 貸付内規</p> <p>一、全 貸付金額收證書</p>			
<p>一、全 貸付金整理簿</p> <p>一、全 貸付廣告案(貸付條件共)</p>			
<p>三、昭和四年度居留民團歳入出決算書</p>			
<p>歳入</p> <p>一、銀百拾六萬五千八百八拾參那四拾六仙也</p> <p>一、銀拾貳萬七千貳百五拾貳那五拾七仙也</p> <p>計銀百貳拾九萬參千貳百參拾六那〇參仙也</p>		<p>歳出</p> <p>一、銀六拾萬七千五百參拾五那壹仙也</p> <p>一、銀五拾九萬貳千六百七拾五那五拾參仙也</p> <p>計銀百拾九萬九千八百拾那五拾四仙也</p> <p>差引銀九萬參千貳百貳拾五那四拾九仙也</p>	
經 常 部	經 常 部	經 常 部	經 常 部
昭 和 五 年 度 へ 繰 越 高			

(123)		(124)	
<p>昭和四年度居留民團歳入出決算表</p>			
<p>科 目</p> <p>第一款 居留民團基金</p> <p>一、土地 課金</p> <p>二、家屋 課金</p> <p>三、取得 課金</p> <p>四、營業 課金</p> <p>第二款 雜種課金</p> <p>一、日本 藝妓</p> <p>二、支那 藝妓</p> <p>三、的 賭</p> <p>四、貸 座 敷</p>		<p>經 常 部</p> <p>豫算額</p> <p>一、一、〇〇〇、〇〇〇</p> <p>二、九、〇〇〇、〇〇〇</p> <p>三、八、〇〇〇、〇〇〇</p> <p>四、四、〇〇〇、〇〇〇</p> <p>五、一、〇〇〇、〇〇〇</p> <p>六、一、〇〇〇、〇〇〇</p>	
<p>比 較</p> <p>増 減 事 由</p> <p>豫算額多カリシ結果</p> <p>新築家屋多カリシ結果</p> <p>負擔者多カリシ結果</p> <p>全</p> <p>負擔者減少ノ結果</p> <p>後年度收入トナリシ結果</p> <p>負擔者少ナカリシ結果</p> <p>抱妓増加ノ結果</p>		<p>決算額</p> <p>一、一、〇〇〇、〇〇〇</p> <p>二、九、〇〇〇、〇〇〇</p> <p>三、八、〇〇〇、〇〇〇</p> <p>四、四、〇〇〇、〇〇〇</p> <p>五、一、〇〇〇、〇〇〇</p> <p>六、一、〇〇〇、〇〇〇</p>	
<p>五、常設興行</p> <p>六、臨時興行</p> <p>第三款 特別課金</p> <p>一、特別 課金</p> <p>第四款 不動産取得稅</p> <p>一、不動産取得稅</p> <p>第五款 工 賃 費</p> <p>一、工 賃 費</p> <p>第六款 使用 料</p> <p>一、公會堂使用料</p> <p>二、道路使用料</p> <p>三、水 道 料</p> <p>四、土地貸下料</p> <p>五、墓地使用料</p> <p>六、火葬場使用料</p>		<p>一、一、〇〇〇、〇〇〇</p> <p>二、一、〇〇〇、〇〇〇</p> <p>三、一、〇〇〇、〇〇〇</p> <p>四、一、〇〇〇、〇〇〇</p> <p>五、一、〇〇〇、〇〇〇</p> <p>六、一、〇〇〇、〇〇〇</p>	
<p>中 途 廢 業 ノ 結 果</p> <p>臨時興行多カリシ結果</p> <p>賣上在代少ナカリシ結果</p> <p>新築家屋及賣買並ニ抵當權ノ設定多カリシ結果</p> <p>負擔者少ナカリシ結果</p> <p>負擔者少ナカリシ結果</p> <p>全</p> <p>使用者多カリシ結果</p> <p>使用者少ナカリシ結果</p> <p>使用少ナカリシ結果</p>		<p>一、一、〇〇〇、〇〇〇</p> <p>二、一、〇〇〇、〇〇〇</p> <p>三、一、〇〇〇、〇〇〇</p> <p>四、一、〇〇〇、〇〇〇</p> <p>五、一、〇〇〇、〇〇〇</p> <p>六、一、〇〇〇、〇〇〇</p>	

(124)

第八款 幼稚園費	一、俸給手當	六八〇〇〇	五三三三二	一、四六六八	諸手當支出少ナカリシ結果
	二、宿直料	三〇〇〇〇	二八〇〇〇	二〇〇〇	
	三、備品費	一、〇〇〇	一、〇〇〇	〇	
	四、消耗品費	六〇〇	六〇〇	〇	
	五、修繕費	五〇〇	五〇〇	〇	
	六、雜費	一〇〇	一〇〇	〇	
第九款 圖書館費	一、圖書費	五七〇〇〇	五三三三二	三六六八	圖書購入少ナカリシ結果
	二、備品費	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	〇	
	三、圖書整理費	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	〇	
	四、消耗品費	一〇〇〇	一〇〇〇	〇	
	五、保險料	一五〇〇	一五〇〇	〇	
	六、俸給手當	二五〇〇〇	二五〇〇〇	〇	
七、宿舍料		三〇〇〇〇	三〇〇〇〇	〇	

(133)

二、修繕費	一〇八〇〇	一〇八〇〇	〇	諸手當支出少ナカリシ結果
三、圖書費	三〇〇〇〇	三〇〇〇〇	〇	修繕箇所少ナカリシ結果
四、圖書費	三〇〇〇〇	三〇〇〇〇	〇	購入修繕少ナカリシ結果
五、器具費	九〇〇〇	九〇〇〇	〇	全
六、校具費	一、八〇〇〇	一、八〇〇〇	〇	文房具等ノ需要多カリシ結果
七、消耗品費	三、八〇〇〇	三、八〇〇〇	〇	職員異動出張少ナカリシ結果
八、旅費	三、〇〇〇	三、〇〇〇	〇	全
九、通信費	一、〇〇〇	一、〇〇〇	〇	豫算額ヲ要セザリシ結果
〇、保險料	六〇〇	六〇〇	〇	全
一、新聞雜誌費	六〇〇	六〇〇	〇	豫算額ヲ要セザリシ結果
二、學園費	六〇〇	六〇〇	〇	全
三、研究會費	一〇〇〇	一〇〇〇	〇	豫算額ヲ要セザリシ結果
四、宿舍料	九〇〇〇	九〇〇〇	〇	全
五、宿直料	四〇〇〇	四〇〇〇	〇	豫定ノ借家賃ヲ要セザリシ結果
六、雜費	一、九〇〇	一、九〇〇	〇	全
七、宿舍料	一、九〇〇	一、九〇〇	〇	豫費用多カリシ結果

(136)

第八、柳筒所費	五、〇〇〇	五、〇〇〇	〇	豫算額ヲ要セザリシ結果
九、柳筒費	一、〇〇〇	一、〇〇〇	〇	植樹ノ購入、人夫使役少ナカリシ結果
〇、修繕費	七〇〇〇	七〇〇〇	〇	全
一、被服費	七〇〇〇	七〇〇〇	〇	豫算額ヲ要セザリシ結果
二、下水道修繕費	一、〇〇〇	一、〇〇〇	〇	全
三、梅燈費	七、〇〇〇	七、〇〇〇	〇	材料購入少ナカリシ結果
四、雜費	一、〇〇〇	一、〇〇〇	〇	豫算額ヲ要セザリシ結果
第十款 水道費	一〇、〇〇〇	九、七〇〇	三〇〇	退職員ノ補充ヲセザリシ結果
一、給料手當	二、八〇〇	二、八〇〇	〇	全
二、備品費	二、五〇〇	二、五〇〇	〇	豫算額ヲ要セザリシ結果
三、修繕費	四、〇〇〇	四、〇〇〇	〇	全
四、器具費	一、〇〇〇	一、〇〇〇	〇	全
五、水代費	二、〇〇〇	二、〇〇〇	〇	使用水量少ナカリシ結果
六、被服費	三、〇〇〇	三、〇〇〇	〇	全
七、消耗品費	三、〇〇〇	三、〇〇〇	〇	豫算額ヲ要セザリシ結果

(135)

第八、雜費	五〇〇	五〇〇	〇	豫算額ヲ要セザリシ結果
第九、調査費	三、〇〇〇	三、〇〇〇	〇	書記一名増加ノ結果
一、俸給手當	一、〇〇〇	一、〇〇〇	〇	全
二、宿舍料	一、〇〇〇	一、〇〇〇	〇	全
三、備品費	一、〇〇〇	一、〇〇〇	〇	全
四、消耗品費	一、〇〇〇	一、〇〇〇	〇	全
五、雜費	一、〇〇〇	一、〇〇〇	〇	全
第六、土木費	七、〇〇〇	七、〇〇〇	〇	全
一、俸給手當	三、〇〇〇	三、〇〇〇	〇	全
二、宿舍料	二、〇〇〇	二、〇〇〇	〇	全
三、備品費	一、〇〇〇	一、〇〇〇	〇	全
四、消耗品費	一、〇〇〇	一、〇〇〇	〇	全
五、器具費	一、〇〇〇	一、〇〇〇	〇	全
六、修繕費	一、〇〇〇	一、〇〇〇	〇	全
七、ウエーヅ運河組合費負擔	三、〇〇〇	三、〇〇〇	〇	全

		(138)	(137)
八、宿直料	費	100.00	100.00
九、雜費	費	100.00	100.00
第十款、給水工事費	費	1,600.00	1,600.00
一、量水器	費	1,000.00	1,000.00
二、給水用品	費	1,100.00	1,100.00
三、作業費	費	1,200.00	1,200.00
四、雜工費	費	1,000.00	1,000.00
第十款、公園費	費	10,000.00	10,000.00
一、給料手當	費	1,000.00	1,000.00
二、備人給	費	1,000.00	1,000.00
三、植木費	費	1,000.00	1,000.00
四、器具費	費	1,000.00	1,000.00
五、消耗品費	費	1,000.00	1,000.00
六、修繕費	費	1,000.00	1,000.00
七、被服費	費	1,000.00	1,000.00
八、點燈費	費	1,000.00	1,000.00
九、用水費	費	1,000.00	1,000.00
十、湯水唧筒費	費	1,000.00	1,000.00
十一、雜費	費	1,000.00	1,000.00
第十款、衛生費	費	10,000.00	10,000.00
一、俸給手當	費	1,000.00	1,000.00
二、備人給	費	1,000.00	1,000.00
三、宿舍料	費	1,000.00	1,000.00
四、被服費	費	1,000.00	1,000.00
五、器具費	費	1,000.00	1,000.00
六、消耗品費	費	1,000.00	1,000.00
七、修繕費	費	1,000.00	1,000.00
八、保險料	費	1,000.00	1,000.00
九、藥品費	費	1,000.00	1,000.00
十、圖書費	費	1,000.00	1,000.00

		(140)	(139)
二、印刷費	費	100.00	100.00
三、雜費	費	100.00	100.00
第十款、保淨費	費	10,000.00	10,000.00
一、作給手當	費	1,000.00	1,000.00
二、備人給	費	1,000.00	1,000.00
三、宿舍料	費	1,000.00	1,000.00
四、器具費	費	1,000.00	1,000.00
五、消耗品費	費	1,000.00	1,000.00
六、清潔法施行費	費	1,000.00	1,000.00
七、汚水池淺濬費	費	1,000.00	1,000.00
八、修繕費	費	1,000.00	1,000.00
九、保險料	費	1,000.00	1,000.00
十、宿直料	費	1,000.00	1,000.00
十一、被服費	費	1,000.00	1,000.00
第十二款、救助費	費	10,000.00	10,000.00
一、救助費	費	1,000.00	1,000.00
第十款、課金徵收費	費	10,000.00	10,000.00
一、特別課金	費	1,000.00	1,000.00
二、徵收手数料	費	1,000.00	1,000.00
第十款、諸稅負擔	費	10,000.00	10,000.00
一、地租	費	1,000.00	1,000.00
第十款、雜支	費	10,000.00	10,000.00
一、接待費	費	1,000.00	1,000.00
二、雜支	費	1,000.00	1,000.00
三、人力車大車自轉車、車登録費、代	費	1,000.00	1,000.00
第十款、備費	費	10,000.00	10,000.00
計	費	10,000.00	10,000.00

科 目	豫算額	決算額	比 増	減 額	増 減 事 由
第一 事務所費	九,七〇〇.〇〇	九,一七三.六六		五二六.三四	
一、營繕費	九,七〇〇.〇〇	九,一七三.六六		五二六.三四	
第二 土木費	一六,四〇〇.〇〇	一六,六九三.〇〇		二九三.〇〇	
一、道路築造費	一六,四〇〇.〇〇	一六,六九三.〇〇		二九三.〇〇	受負工費低廉ト豫定材料ヲ要セザリシ結果
二、下水道築造費	〇.〇〇	〇.〇〇		〇.〇〇	工費低廉ノ結果
三、苗圃費	〇.〇〇	〇.〇〇		〇.〇〇	
四、運動場費	〇.〇〇	〇.〇〇		〇.〇〇	
五、營繕費	〇.〇〇	〇.〇〇		〇.〇〇	
六、器具購入費	〇.〇〇	〇.〇〇		〇.〇〇	
第三款 水道費	六,八〇〇.〇〇	六,五五五.〇〇		二四五.〇〇	
一、水道管敷設費	六,八〇〇.〇〇	六,五五五.〇〇		二四五.〇〇	鉛管敷設替少ナカリシ結果
二、雜工費	〇.〇〇	〇.〇〇		〇.〇〇	鑿井工事ニ要シタル結果
第四 衛生費	六,〇〇〇.〇〇	五,一四五.〇〇		八八五.〇〇	
一、器具費	六,〇〇〇.〇〇	五,一四五.〇〇		八八五.〇〇	豫算額ヲ要セザリシ結果
二、試驗用器具費	一〇〇.〇〇	一〇〇.〇〇		〇.〇〇	
三、營繕費	一,〇〇〇.〇〇	九五〇.〇〇		五〇.〇〇	器具購入修繕多カリシ結果
四、患者費	一,〇〇〇.〇〇	一,四八〇.〇〇		四八〇.〇〇	患者少ナカリシ結果
五、豫防費	一,〇〇〇.〇〇	四九二.〇〇		五〇八.〇〇	藥品購入少ナカリシ結果
六、雜費	一〇〇.〇〇	三〇.〇〇		七〇.〇〇	
第五 保淨費	一,〇〇〇.〇〇	一,〇〇〇.〇〇		〇.〇〇	
一、營繕費	一,〇〇〇.〇〇	一,〇〇〇.〇〇		〇.〇〇	
第六 居留民團債	三〇,〇〇〇.〇〇	三〇,〇〇〇.〇〇		〇.〇〇	
一、第三還元金債	一〇,〇〇〇.〇〇	一〇,〇〇〇.〇〇		〇.〇〇	
二、全還元金債	一〇,〇〇〇.〇〇	一〇,〇〇〇.〇〇		〇.〇〇	
三、第五還元金債	一〇,〇〇〇.〇〇	一〇,〇〇〇.〇〇		〇.〇〇	
四、第六還元金債	一〇,〇〇〇.〇〇	一〇,〇〇〇.〇〇		〇.〇〇	
五、第七還元金債	一〇,〇〇〇.〇〇	一〇,〇〇〇.〇〇		〇.〇〇	
六、全還元金債	一〇,〇〇〇.〇〇	一〇,〇〇〇.〇〇		〇.〇〇	
七、第七還元金債	一〇,〇〇〇.〇〇	一〇,〇〇〇.〇〇		〇.〇〇	
合計	一〇〇,〇〇〇.〇〇	九七,〇〇〇.〇〇		三,〇〇〇.〇〇	

科 目	豫算額	決算額	比 増	減 額	増 減 事 由
第八 補助及寄付	七,三三〇.〇〇	三,五五五.〇〇		三,七七五.〇〇	元金ヲ分割受入ノ結果
第七 補助及寄付	七,三三〇.〇〇	三,五五五.〇〇		三,七七五.〇〇	
一、共立學校補助金	九,〇〇〇.〇〇	九,〇〇〇.〇〇		〇.〇〇	
二、天津修業學校	九,〇〇〇.〇〇	九,〇〇〇.〇〇		〇.〇〇	
三、天津在郷軍人分會非常用銃器入手補助費	〇.〇〇	〇.〇〇		〇.〇〇	
四、天津日本商業會議所	〇.〇〇	〇.〇〇		〇.〇〇	
第八 臨時調査費	一,〇〇〇.〇〇	一,〇〇〇.〇〇		〇.〇〇	
一、臨時調査費	一,〇〇〇.〇〇	一,〇〇〇.〇〇		〇.〇〇	
第九 紀念費	六,〇〇〇.〇〇	六,〇〇〇.〇〇		〇.〇〇	
一、民國二十年紀念費	六,〇〇〇.〇〇	六,〇〇〇.〇〇		〇.〇〇	
第十 冷蔵水貯蔵費	九,〇〇〇.〇〇	九,〇〇〇.〇〇		〇.〇〇	
一、冷蔵水貯蔵費	九,〇〇〇.〇〇	九,〇〇〇.〇〇		〇.〇〇	
第十一 冷蔵水貯蔵費	九,〇〇〇.〇〇	九,〇〇〇.〇〇		〇.〇〇	
一、冷蔵水貯蔵費	九,〇〇〇.〇〇	九,〇〇〇.〇〇		〇.〇〇	
第十二 御大典紀念事業基金	一〇,〇〇〇.〇〇	一〇,〇〇〇.〇〇		〇.〇〇	
一、御大典紀念事業基金	一〇,〇〇〇.〇〇	一〇,〇〇〇.〇〇		〇.〇〇	
第十三 警備費	一六,〇〇〇.〇〇	一六,〇〇〇.〇〇		〇.〇〇	
一、消防器具費	一六,〇〇〇.〇〇	一六,〇〇〇.〇〇		〇.〇〇	
第十四 土地費	一六,〇〇〇.〇〇	一六,〇〇〇.〇〇		〇.〇〇	
一、道路敷地買取費	一六,〇〇〇.〇〇	一六,〇〇〇.〇〇		〇.〇〇	
第十五 天津製氷冷蔵株式取得費	四,〇〇〇.〇〇	四,〇〇〇.〇〇		〇.〇〇	
一、株式取得費	四,〇〇〇.〇〇	四,〇〇〇.〇〇		〇.〇〇	
第十六 家屋移轉費	四,〇〇〇.〇〇	四,〇〇〇.〇〇		〇.〇〇	
一、家屋移轉費	四,〇〇〇.〇〇	四,〇〇〇.〇〇		〇.〇〇	
第十七 家屋移轉補償金	四,〇〇〇.〇〇	四,〇〇〇.〇〇		〇.〇〇	
一、家屋移轉補償金	四,〇〇〇.〇〇	四,〇〇〇.〇〇		〇.〇〇	
合計	一〇〇,〇〇〇.〇〇	一〇〇,〇〇〇.〇〇		〇.〇〇	

一、銀六拾參萬七千參百七拾五兩八拾七仙也
計銀六拾參萬七千參百七拾五兩八拾七仙也

一四、昭和四年度特別會計電氣歲入出決算書

經常部

		(146)		(145)	
科	目	歳出	歳入	歳出	歳入
第一科	事務所費	七五、七〇〇	七五、七〇〇	七五、七〇〇	七五、七〇〇
二、備給	給	二、四〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇
三、備品	費	三、三〇〇	三、三〇〇	三、三〇〇	三、三〇〇
四、宿舍	料	三、五〇〇	三、五〇〇	三、五〇〇	三、五〇〇
五、旅費	費	一、七〇〇	一、七〇〇	一、七〇〇	一、七〇〇
計		八七、〇〇〇	八七、〇〇〇	八七、〇〇〇	八七、〇〇〇
第三科	前年度繰越金	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
第四科	雑収入	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
計		九七、〇〇〇	九七、〇〇〇	九七、〇〇〇	九七、〇〇〇
増減事由		技師退職手当支出ノ結果 人夫等ノ使役並ニ諸手当支出 少ナカリシ結果 豫算額ヲ要セザリシ結果		過年度収入多カリシ結果	

		(149)		(147)	
科	目	歳出	歳入	歳出	歳入
第一科	土木建築費	七、九〇〇	七、九〇〇	七、九〇〇	七、九〇〇
二、宿舍	新築	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
三、發電所換氣装置	費	六、〇〇〇	六、〇〇〇	六、〇〇〇	六、〇〇〇
計		四、九〇〇	四、九〇〇	四、九〇〇	四、九〇〇
第五科	電力購入費	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇
第六科	雑備費	八、六〇〇	八、六〇〇	八、六〇〇	八、六〇〇
計		一〇、六〇〇	一〇、六〇〇	一〇、六〇〇	一〇、六〇〇
増減事由		電力購入少ナカリシ結果 豫算額ニ達セザリシ結果 最初ノ豫算一三、五六四、〇〇〇 内支出額一四、九五〇、〇〇〇 残一八、六一四、〇〇〇		石炭價低廉ノ結果 使用水量多カリシ結果 豫算額ヲ要セザリシ結果	

(149)

一五、昭和四年度特別會計實業復興資金歲入出決算書

第一、配電設備費	一八、〇〇〇	二二、〇〇〇	一、二〇〇	五、七六七	爲替高騰の結果
第二、電線路増設費	一一、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	1ター購入少ナカリン結果
第三、積算電力計	七、〇〇〇	七、〇〇〇	〇	〇	
第四、賦年償還金	一四、〇〇〇	一四、〇〇〇	〇	〇	
第五、年賦償還金	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	〇	〇	
第六、全利子	三、〇〇〇	三、〇〇〇	〇	〇	
第七、電熱獎勵費	一、〇〇〇	一、〇〇〇	〇	〇	
第八、電熱獎勵費	一、〇〇〇	一、〇〇〇	〇	〇	
第九、電熱獎勵費	一、〇〇〇	一、〇〇〇	〇	〇	
第十、電熱獎勵費	一、〇〇〇	一、〇〇〇	〇	〇	
合計	六六、〇〇〇	六六、〇〇〇	〇	〇	

(150)

昭和四年度特別會計實業復興資金歲入出決算表

第一、銀壹千八百拾九萬六拾參仙也	出	一、〇〇〇	一、〇〇〇	〇	〇	〇
計銀壹千八百拾九萬六拾參仙也	入	一、〇〇〇	一、〇〇〇	〇	〇	〇
第二、實業復興資金	出	一、〇〇〇	一、〇〇〇	〇	〇	〇
一、貸付金	出	一、〇〇〇	一、〇〇〇	〇	〇	〇
二、預金利息	出	一、〇〇〇	一、〇〇〇	〇	〇	〇
合計	出	二、〇〇〇	二、〇〇〇	〇	〇	〇
合計	入	二、〇〇〇	二、〇〇〇	〇	〇	〇

(151)

一六、昭和六年度居留民團歲入出總決算書

第一、俸給及手當	八、〇〇〇	八、〇〇〇	〇	〇	〇	〇
第二、備人給	八、〇〇〇	八、〇〇〇	〇	〇	〇	〇
第三、備用品費	一、〇〇〇	一、〇〇〇	〇	〇	〇	〇
第四、消耗品費	一、〇〇〇	一、〇〇〇	〇	〇	〇	〇
第五、公告料	一、〇〇〇	一、〇〇〇	〇	〇	〇	〇
第六、宿舍料	一、〇〇〇	一、〇〇〇	〇	〇	〇	〇
第七、雜費	一、〇〇〇	一、〇〇〇	〇	〇	〇	〇
合計	三三、〇〇〇	三三、〇〇〇	〇	〇	〇	〇

(152)

昭和六年度居留民團歲入出總決算表

第一、銀七拾肆萬六千貳百五拾四仙也	出	一、〇〇〇	一、〇〇〇	〇	〇	〇
計銀八拾五萬七千貳百五拾四仙也	入	一、〇〇〇	一、〇〇〇	〇	〇	〇
第二、銀五拾八萬四千六拾參仙也	出	一、〇〇〇	一、〇〇〇	〇	〇	〇
計銀八拾五萬七千貳百五拾四仙也	入	一、〇〇〇	一、〇〇〇	〇	〇	〇
第一、民團課金	出	一、〇〇〇	一、〇〇〇	〇	〇	〇
一、土地課金	出	一、〇〇〇	一、〇〇〇	〇	〇	〇
二、家屋課金	出	一、〇〇〇	一、〇〇〇	〇	〇	〇
合計	出	三、〇〇〇	三、〇〇〇	〇	〇	〇
合計	入	三、〇〇〇	三、〇〇〇	〇	〇	〇

(158)

科 目	本年 預算額	前年 預算額	比 增	備 考	臨時部	
					本年 預算額	前年 預算額
一、備人給	6,111.00	6,111.00				
二、備用品費	1,110.00	1,110.00				
三、修繕費	3,000.00	3,000.00				
四、印刷費	1,000.00	1,000.00				
五、通信費	1,100.00	1,100.00				
六、旅費	1,000.00	1,000.00				
七、公告費	1,000.00	1,000.00				
八、宿舍費	1,000.00	1,000.00				
九、保險費	1,000.00	1,000.00				
一〇、燃料費	1,000.00	1,000.00				
一〇、燃料費	1,000.00	1,000.00				
二、雜費	1,000.00	1,000.00				
三、煤費	1,000.00	1,000.00				
四、雜費	1,000.00	1,000.00				
合計	20,000.00	20,000.00				

(157)

科 目	本年 預算額	前年 預算額	比 增	備 考	臨時部	
					本年 預算額	前年 預算額
一、備人給	6,111.00	6,111.00				
二、備用品費	1,110.00	1,110.00				
三、修繕費	3,000.00	3,000.00				
四、印刷費	1,000.00	1,000.00				
五、通信費	1,100.00	1,100.00				
六、旅費	1,000.00	1,000.00				
七、公告費	1,000.00	1,000.00				
八、宿舍費	1,000.00	1,000.00				
九、保險費	1,000.00	1,000.00				
一〇、燃料費	1,000.00	1,000.00				
一〇、燃料費	1,000.00	1,000.00				
二、雜費	1,000.00	1,000.00				
三、煤費	1,000.00	1,000.00				
四、雜費	1,000.00	1,000.00				
合計	20,000.00	20,000.00				

(160)

科 目	本年 預算額	前年 預算額	比 增	備 考	臨時部	
					本年 預算額	前年 預算額
一、修繕費	7,000.00	7,000.00				
二、巡捕宿舍費	1,000.00	1,000.00				
三、雜費	1,000.00	1,000.00				
四、巡捕員係給手當	6,000.00	6,000.00				
五、消防被服費	1,000.00	1,000.00				
六、修繕費	1,000.00	1,000.00				
七、消防器具費	1,000.00	1,000.00				
八、消防消耗品費	1,000.00	1,000.00				
九、消防雜費	1,000.00	1,000.00				
一〇、燃料費	1,000.00	1,000.00				
一〇、燃料費	1,000.00	1,000.00				
二、備用品費	1,000.00	1,000.00				
三、煤費	1,000.00	1,000.00				
四、雜費	1,000.00	1,000.00				
合計	20,000.00	20,000.00				

(159)

科 目	本年 預算額	前年 預算額	比 增	備 考	臨時部	
					本年 預算額	前年 預算額
一、修繕費	7,000.00	7,000.00				
二、巡捕宿舍費	1,000.00	1,000.00				
三、雜費	1,000.00	1,000.00				
四、巡捕員係給手當	6,000.00	6,000.00				
五、消防被服費	1,000.00	1,000.00				
六、修繕費	1,000.00	1,000.00				
七、消防器具費	1,000.00	1,000.00				
八、消防消耗品費	1,000.00	1,000.00				
九、消防雜費	1,000.00	1,000.00				
一〇、燃料費	1,000.00	1,000.00				
一〇、燃料費	1,000.00	1,000.00				
二、備用品費	1,000.00	1,000.00				
三、煤費	1,000.00	1,000.00				
四、雜費	1,000.00	1,000.00				
合計	20,000.00	20,000.00				

(162)

(161)

項目	金額	備註
五、器具費	一、三〇〇.〇〇	土工器具新調修繕
六、修道費	四、九六〇.〇〇	碎石、砂、コルク、ソリ
七、ウエズ運河	六、〇〇〇.〇〇	瓦、セメント、石灰、人夫
八、柳筒所費	三、四〇〇.〇〇	馬車、職工、石炭等
九、修繕費	一、一〇〇.〇〇	月平均五〇弗
一〇、被服費	七、五〇〇.〇〇	電力、電燈、保險、消耗品等
一一、下水道修繕費	五、〇〇〇.〇〇	植樹、樹架、肥料、人夫等
一二、雜工費	五、〇〇〇.〇〇	倉庫、柳筒所、宿舍修繕
一三、雜費	五、〇〇〇.〇〇	監督、工夫、職工、服、帽、雨衣等
一四、雜費	一、〇〇〇.〇〇	路面鐵蓋甲乙樹蓋
一五、埠頭修繕費	三、二〇〇.〇〇	小工事
一六、水道費	一、〇〇〇.〇〇	雜誌、保險等
一七、俸給手當	三、三〇〇.〇〇	電燈料、電球、其他維持費
合計	三、三〇〇.〇〇	技師一、職員二、給料、年末
合計	一、一〇〇.〇〇	技師一、職員二、給料、年末

(164)

(163)

項目	金額	備註
二、備給	一、四〇〇.〇〇	使丁三名火夫一名給料年末慰勞金臨時人夫賃等
三、宿舍料	一、五〇〇.〇〇	技師、技手
四、被服費	四、〇〇〇.〇〇	豫防衣、消毒衣、看護衣等
五、器具費	一、〇〇〇.〇〇	試驗消毒器具、戸欄、太陽燈器具修繕
六、消耗品費	一、五〇〇.〇〇	電燈料、文房具、ガソリン、石炭、薪、木炭等
七、修繕費	三、〇〇〇.〇〇	宿舍修繕
八、藥品費	三、〇〇〇.〇〇	各種血精、治療、消毒試驗用藥品等
九、圖書費	一、〇〇〇.〇〇	雜誌等
一〇、印刷費	一、〇〇〇.〇〇	衛生、清潔法、注意書等
一一、雜費	六、〇〇〇.〇〇	飼犬鑑札、野犬捕殺、水代等
一二、保險費	三、〇〇〇.〇〇	書記
一三、俸給手當	九、四〇〇.〇〇	書記一名職員四名俸給手當年末慰勞金
合計	四、七〇〇.〇〇	
合計	六、七〇〇.〇〇	

(165)

科 目	臨時部		比 較	備 考
	本年	前年		
第一科 土木費	5,500,000	5,500,000	0	
一、道路築造費	5,500,000	5,500,000	0	中山街、石山街、浪速街、大和街、凌路街、歩道舗装(榮隆橋)美登路、新設胡同、葛クワン、新設胡同
二、下水暗渠築造費	0	0	0	
三、埠頭工事費	0	0	0	上屋二種及共同便所新設
計	5,500,000	5,500,000	0	

(166)

科 目	臨時部		比 較	備 考
	本年	前年		
第四款 ウェス河浸漬運動場費	6,000,000	6,000,000	0	
第二款 水道費	9,100,000	9,100,000	0	専用水道給管敷設 消火栓増設改造三、〇〇〇 水道自費調査費二、五〇〇
一、水道管敷設費	9,100,000	9,100,000	0	
第三款 警備費	0	0	0	
一、車庫増設費	0	0	0	
〇、自動車	0	0	0	
第四款 團債	10,000,000	10,000,000	0	埠頭築造ノタメ正金銀行ヨリ 借入金六十七萬五、〇〇〇 還元金(製約)ニ依ル本年 還元金六萬五、〇〇〇ハ 内銀六萬五、〇〇〇ハ特別 計減債金ヨリ支出)
一、第九團債	10,000,000	10,000,000	0	
二、全利子	0	0	0	全上額ニ對スル利子
三、償還七利子債	0	0	0	外務省ヨリ借入金五十萬圓 ニ對スル利子(年三%)金一萬 五千圓ハ特別會計減債金ヨ リ支出)

(167)

第五款 補助及寄附	10,000,000	9,000,000	1,000,000	
一、共立學校補助費	10,000,000	9,000,000	1,000,000	
第六款 特別會計	0	0	0	
一、增築費積立金	10,000,000	10,000,000	0	
第七款 減債基金計	0	0	0	
一、減債積金	0	0	0	
第八款 衛生費	0	0	0	
一、被服費	0	0	0	豫防衣、看護婦衣、消毒用服等
二、器具費	0	0	0	治療器具修繕
三、消耗品費	0	0	0	石炭、電燈、木炭等
四、修繕費	0	0	0	建具、煙房屋根、修繕外部モル タル塗
五、保險料	0	0	0	
六、患者費	0	0	0	治療藥品患者食費
七、雜費	0	0	0	水代等

(168)

種 別	入	出	入	出
第一〇款 豫防費	11,000,000	0	11,000,000	0
〇、營繕費	5,000,000	0	5,000,000	0
計	11,000,000	0	11,000,000	0
一、銀拾貳萬弗也	11,000,000	0	11,000,000	0
二、銀拾貳萬弗也	0	0	0	0
三、銀拾貳萬弗也	0	0	0	0
計	11,000,000	0	11,000,000	0

昭和六年度特別會計減債基金歲入出豫算書

昭和六年度特別會計減債基金歲入出豫算表

科 目		本年	前年	比	減	備	考
歳	入	額	額	増	較		
(170) 一八、昭和六年度特別會計天津共立學校増築費積立金歳入出豫算書							
第一科	天津共立學校増築費積立金	10,000,000	10,000,000	10,000,000			
計		10,000,000	10,000,000	10,000,000			
(169) 一八、昭和六年度特別會計天津共立學校増築費積立金歳入出豫算書							
第一科	減債基金	10,000,000	10,000,000	10,000,000			
第二科	前年度繰越金	10,000,000	10,000,000	10,000,000			
計		20,000,000	20,000,000	20,000,000			
(171) 第三、土木部							
一、土木							
一、處理事項							
(一) 施設下水道敷設願ニ關スル件 三五件							
(二) 道路使用願ニ關スル件 一〇八件							
(三) 工事施行							
イ、桃山街車道築造工事 延長二百六十七間二分車道幅三間三分三厘							
至 興津街 外ニ取合所三十四坪ヲ合セ面積九百二十四坪							
請負人 齋藤新三郎(公入札ニ依ル)							
(四) 自明石街 延長二百六十七間二分車道幅三間三分三厘							
至 興津街 外ニ取合所三十四坪ヲ合セ面積九百二十四坪							
請負人 齋藤新三郎(公入札ニ依ル)							
(五) 五月十九日着手 七月六日竣工							
工事概要 本工事ハ在來車道ヲ深平均二尺五寸掘取リ灰土厚一尺打子其上ニ赤煉瓦小端立二段ヲ並							
ベテ基礎トシ碎石六寸敷込四寸ニ壓壓「コイルター」撒布ヲ以テ仕上ゲタリ							
工 費 内 訳							
請負附託額 銀三千八百八十弗							
赤煉瓦 四五六、〇〇〇枚 銀二千四百〇六弗二十四仙							
碎 石 一九一、方四二 銀二千八百〇四弗三十仙							
コイルター撒布並ニ工賃等 銀二千〇八八弗九十一仙							
計銀一萬〇四百七十九弗四十五仙							
ロ、浪速街道路築造工事							
自春日街 延長百九十七間二分總幅五間							
至 波路街							
請負人 山越金太郎(公入札ニ依ル)							
工事施行 七月四日着手 八月二十四日竣工							
工事概要 本工事ハ浪速土ヲ以テ歩道開石ヲ築造シ中央ニ二尺二寸車道トシ車道ハ平均深二尺二寸							
掘取リ灰土厚一尺赤煉瓦小端立二段ヲ基礎トシ碎石六寸敷込四寸ニ壓壓「コイルター」							
撒布ヲ以テ仕上ゲタリ							
工 費 内 訳							
請負附託額 銀三千四百四十五弗							

(173)

石	一五九方二	銀二千三百三十二弗二十八仙
赤煉瓦	三二〇、〇〇〇枚	銀一千四百四十四弗八十仙
コイルター	撒布及其他材料工賃等	銀一千六百二十八弗六十三仙
		計銀九千〇五十七弗七十一仙
ハ、石山街道路築造工事		
自宮島街		
至本願寺		
延長二百〇六間總幅三間半		
請負人 山越金太郎(公入札ニ依ル)		
工事施行 七月二十二日着手 九月八日竣工		
工事概要 本工事ハ兩側建物ニ沿ヒ幅八寸ノ「コイルター」ヲ築造シ排水枳五箇所新設四十七箇所ハ在來ノモノヲ積替ヘ路面ハ赤煉瓦小端立一段ヲ基礎トシ碎石六寸敷込四寸ニ輾壓「コイルター」撒布ヲ以テ仕上ゲタリ		
工費内譯		
請負附託額		銀二千四百十弗
碎石	一六一方	銀二千五百一十一弗六十仙
赤煉瓦	一七〇、〇〇〇枚	銀八百七十三弗八十仙
コイルター	撒布及其他材料工賃等	銀一千六百四十四弗三十七仙
		計六千六百八十九弗七十七仙
ニ、茨蓉街歩道鋪裝工事		

(174)

自宮島街		
至秋山街		
面積四百三十坪		
直營		
工事施行 八月十八日着手 九月十八日竣工		
工事概要 本工事ハ在來ノ歩道面ヲ深平均一尺七寸掘取リ灰土厚一尺五寸ヲ以テ基礎トシ「石灰モルタル」厚一寸ニテ「セメント」ヲ横斷勾配六十分ノ一ニ張詰メ尙「コイルター」及建家側ノ空際并ニ張上目地ハ「セメント」ヲ用ヒ充分ニ填充仕上ゲタリ		
工費内譯		
セメント	二四、〇〇〇枚	銀一千九百二十弗
石灰並ニ諸材料及工賃等		銀一千六百三十三弗四十六仙
		計銀三千五百五十三弗四十六仙
ホ、常盤街道路築造工事		
中原公司裏通		
延長四十三間道路幅三間半		
直營施行 九月五日着手 十月十日竣工		
工事概要 本工事ハ兩側建物ニ沿ヒ幅八寸ノ「コイルター」ヲ築造シ路面ハ赤煉瓦小端立一段ヲ基礎トシ碎石六寸敷込四寸ニ輾壓「コイルター」撒布ヲ以テ仕上ゲタリ		
工費内譯		
碎石	三〇方	銀四百六十八弗
コイルター及砂		銀三百二十九弗五十仙

(175)

セメント並ニ諸材料及工賃等		
計銀一千四百四十四弗八十一仙		
ハ、淡路街車道築造工事		
自宮島街		
延長二百十四間車道幅五間		
至秋山街		
附帶工事第二分署橫路延長四十六間車道幅三間		
請負人 齋藤新三郎(公入札ニ依ル)		
工事施行 九月六日着手 十月二十日竣工		
工事概要 本工事ハ車道ヲ「コイルター」道路ニ仕上ゲタルモノニシテ平均一尺二寸掘取リ灰土打厚一尺赤煉瓦小端立二段ヲ基礎トシ碎石六寸敷込四寸ニ輾壓「コイルター」撒布ヲ以テ仕上ゲタリ尙附帶工事トシテ第二分署橫路延長四十六間車道幅三間赤煉瓦一段並ニ碎石「コイルター」撒布ヲ以テ仕上ゲタリ		
工費内譯		
請負附託額		銀二千九百弗
碎石	二四〇方	銀三千七百四十四弗
赤煉瓦	五二〇、〇〇〇枚	銀二千六百七十二弗八十仙
コイルター	撒布並ニ雜工費	銀一千二百〇六弗四十八仙
		計銀一萬〇五百二十三弗二十八仙
ト、福島街三星里道路築造工事		

(176)

自福島街		
至日支界		
延長三十三間道路幅三間半		
直營施行 五月九日着手 六月三日竣工		
工事概要 本工事ハ兩側建物ニ沿ヒ幅八寸ノ「コイルター」ヲ築造シ赤煉瓦小端立一段ヲ基礎トシ碎石六寸敷込四寸ニ輾壓「コイルター」撒布ヲ以テ仕上ゲタリ		
工費内譯		
碎石	二〇方	銀五百〇二弗
コイルター及砂		銀六百六十五弗七十仙
セメント並ニ諸材料及工賃等		銀六百七十九弗四十六仙
		計銀一千三百四十七弗十六仙
チ、松島街歩道鋪裝工事		
自榮街		
面積六百五十三坪二合三勺		
至淡路街		
直營		
工事施行 九月二十日着手 十月二十四日竣工		
工事概要 本工事ハ在來歩道面ヲ深平均一尺七寸掘取リ灰土一尺五寸ヲ基礎トシ石灰「モルタル」一寸厚ニテ横斷勾配六十分ノ一トシテ「セメント」ヲ張詰メ仕上ゲタリ		
工費内譯		

ゼメントタイル 三四、〇〇枚 銀二千七百二十弗
石灰並ニ諸材料及工賃等 銀二千七百二十四弗五十九仙
計銀五千四百四十四弗五十九仙

直營施工 九月二十七日着手 十月十一日竣工
工事概要 本工事ハ兩側建物ニ沿ヒ八寸ノ「コーピング」ヲ築造シ赤煉瓦小端立一段ヲ基礎トシ碎石六寸敷込四寸ニ覆蓋「コーンター」撒布ヲ以テ仕上げタリ

至 福島街 延長五十五間道路幅三間半
自 伏見街
至 福島街 延長五十五間道路幅三間半
至 山口街 延長一百三十間道路幅七間一分六厘

(178)

以テ道路工事費ハ中日折半負擔ノ慣例アリ依テ中國工務局ト各六千七百弗ツ、ノ負擔ヲ協定シ且請負人選定モ雙方ニ於テ二名ヲ指名シ日支請負人四名ノ競争入札ヲ行ヒタリ
請負人 金野千太郎 (指名競争入札ニ依ル)

請負附託額 (追加共)
石 四二〇方 銀五千八百二十二弗八十仙
碎 銀六千五百五十二弗
計銀壹萬貳千參百七拾四弗八拾仙

右工費豫定額ノ處工事中止ニ依リ請負人ニハ工事出来形ノ八割銀二千六百六十弗四十仙ヲ支拂ヒ又碎石ノ百七十分銀二千七百四十五弗六十仙ト合計銀五千四百〇六弗ヲ支拂ヒタリ
面 積 四百十七坪
請負人 星野順次郎 (指名競争入札ニ依ル)

工事施工 十月十日着手
工事概要 本工事ハ内法二尺角深一尺五寸ノ排水溝ヲ六箇所新設シ在來ノ排水溝ニ接續セシメ施工

(177)

區域ハ平均七寸掘取リ厚四寸掘取リ煉瓦敷置シ其上ニ石灰燻一土ヲ混合シタルモノヲ三寸掘取リ厚二寸掘取リ「ローラー」ニテ輾壓シ仕上げタリ

直營施工 十月二十二日着手 十二月十日竣工
工事概要 本工事ハ在來路面ヲ平均深四寸掘取リ鐵板ヲ以テ掘固シ黒煉瓦ヲ小端立横斷勾配三十分ノ一ニ張詰メ仕上げタリ

至 佛租界 住吉街ニ沿フ運河 延長五百九十八間三分
自 海光寺開門

(180)

業ヲ行ヒ、又河床ノ石塊及土塊ノ沈存、拾ヒ揚ガシ作業者ハ支那人ノ「素モグリ」ト稱スル潜水夫ノ水中作業ト作業船ノ操縦トニ依リ幾多ノ難工事ヲ作ヒナガラヌレモ八月十七日工事を終了スルニ至レリ是ヲ以テ河岸ノ浚渫及民船漕行ニツキ略危險ヲ除クコトヲ得タリ而シテ其ノ工事成績左如ク如シ

古杭採取工費 七百四十三本
石塊拾ヒ揚ガシ工費 八月十七日終了
拾ヒ揚ガシ石塊及灰土塊數 五千三百九十七個
其他水底ノ古杭採取費 八十三本

古杭採取工費 銀九百〇四弗五十一仙
石塊拾ヒ揚ガシ工費 銀五千四百二十二弗五十仙
計銀六千六百二十三弗九十九仙

本工事ハ本運河關係各租界ニ關聯スル工事ナルヲ以テ英租界、佛租界、特別一區及中國工務局ノ各關係公署間ニ豫メ工事ノ打合セヲ行ヒ四月二十八日ノ會合ニ於テ協議ノ結果工事請負ハ最低入札額ニ依リ日本租界及佛租界ヲ竹村山登氏ニ英租界及特別一區ヲ清長順氏ニ請負ハシムルコト、シ先ツ

(181)

日本租界ヨリ起工シ日佛終了後英租界ニ着手スル工事順序トシテ各代表者ノ意見一致スルニ至リタルヲ以テ五月始メ直チニ本租界ヨリ起工スベク準備中、本運河ヲ灌漑用水路トスル南海一帯ノ水田耕作ノ支那農民ハ市政府ヲ介シテ灌漑時期中ノ運河阻水ニ付抗議ヲ申來リ爲メニ實情調査ヲ行フ等ニテ一頓挫ヲ來タシタルシモ灌漑問題ノ紛糾自然緩和サル、ニ及ビ五月十三日漸ク工事ニ着手シ以テ未済々工事進捗シテ出来形五割八分強ニ至リタル七月十日數日雨ニ全運河増水シ假令切土堤欠損シタル爲メ浸水ニ依リ工事停頓スルニ至リシガ、コレヨリ養六月二十五日佛工部局ハ佛租界發電所ノ冷却水入口ニ於ケル水漏ノ關係上九月二十日マテ工事ノ中止ヲ申來レリ、依テ之ヲ承認シ再工事ニ着手ノ際工事進捗上、佛租界工事ヲ同時ニ施工スルガ得策ナルヲ以テ請負人ニハ直接佛工部局ニ全租界工事ノ請負ニ付約東ノ通り契約方願出タル處、全局ニ於テハ前協定ヲ全々否認シ更ニ願望ヲ爲サザル趣キナルヲ以テ當民間ニ於テ交渉スルニ至リシガ、結局全局ノ申分ハ前協定ノ請負人指定ハ責任者ノ言買ニアラズト稱シ拒否スルニ至リシガ、六月餘ヲ費シ八月三十日再ビ工事を着手シテ出来形七割四分強ニ及ビタルコト十一月八日事變突發ニ依リ再ビ工事ヲ中止シ加ヘテ全月十日軍制ニ於テ防備上本運河ニ河水ヲ灌エシムル緊要ノ要求アリ、即日切切ヲ解放シテ浸水セシメ、續テ結末期ニ入り遂ニ本工事ハ斯如キ諸種ノ事情ニ依リ本年内ニ竣工スルニ至ラザリシモノナリ、隨テ請負人ノ蒙リタル迷惑及損失尠カラザルモノアリタルヲ認ム

請負人 竹村由登(公入札ニ依ル)

工事施工 五月十三日着手 未竣工

工事概要 本工事ハ運河延長五百九十八間三分底幅二十尺標高六丈四尺六寸零尺兩法一割五分乃至二割トシテ泥土量五千四百五十四方ヲ浚渫スルモノニテ發電所冷却水取入及下水吐出シ

(182)

請負附託額 銀五千九百九十九兩四十四仙

右ノ内工事出来形ニ對シ内渡 銀四千貳百八拾七兩八拾仙ヲ支拂ヒタリ

三、一 一般 修 道

イ、ソリデット道路補修

芙蓉 補修面積(平方尺) 五三七、四五

宮島 街 全 九、八九

秋山 街 全 一、七四、六二

福島 街 全 一、一五〇、〇三

山崎 街 全 一、〇〇四、七九

壽口 街 全 三、七三、〇六

新壽 街 全 四、八七五、七四

計 一四九、九

所要材料 ソリデットセメント 七方八七

花崗 碎石

コ、コールド道路補修

支障ナキ様五ヶ所ノ假令切リヲ施工シ、浚渫面積ノ排水ヲ行ヒ浚渫シタル泥土ハ住吉街、向隣共益會所有地(水堀)ニ運搬大積標高八尺ノ高サニ捨土シ工事ハ期間六十日ヲ以テ終了豫定ノ處前述ノ理由ニ依リ停頓スルニ至リタリ

工 費 内 譯

(183)

旭街外十五街コールド道路面積一萬八千六百坪ニ對シ補修撒布ヲナセリ所要コールド數六百〇五樽

ハ、碎石道路補修

路面掘起碎石補充コールド撒布

橋立街 延長七十一間九 面積二百五十一坪六合 補充碎石十一方

伏見街 延長三百五十三間 面積千二百三十五坪五合 補充碎石百〇五方

ニ、未完成道路

前年ニ於テ左記未完成道路ハ路面ヲ整形シ石炭敷ヲ敷込ミ排水方法ヲ講ジタリシモ尙降雨ニ際シテハ泥濘甚キヲ以テ本年ハ路面ヲ約四寸掘取リ煉瓦厚三寸敷込ミ掘上土砂ト石炭敷ヲ混合シ厚一寸通り敷キ均シ輾壓補修シタルニ良好ノ結果ヲ得タリ

尙淺路街及加茂街ハ伏見街ヲ修造シタル橋下石交リヲ敷均シ輾壓補修セリ

三島街 至福島街 延長 二九五間六分 面積 一、〇三四坪六合

興津街 至宮島街 全 一五七間 全 五二二坪八合

住宅道路 自三島街 全 一二五間六分 全 四三九坪六合

二島街 自興津街 全 一一二間 全 二四二坪

ホ、セメントタイル鋪裝歩道補修

(184)

鋪裝完成歩道ニシテ補修ヲ要シタル歩道ハ主トシテ旭街及宮島街雨水街改造ニ伴フ修理ノ補修ナリシガ其ノ他ハ上下水道敷設工事跡ノ補修ニシテ本年度中ニ於ケル補修面積ハ旭街其ノ他ニ計約二百五十五坪六合ナリ

ハ、アスファルト試驗撒布

前年ニ於テ春日街ニ試驗的アスファルト撒布ヲ施工シ其ノ成績ヲ見ケルニ極暑ノ時季ニ於テ沸ク傾向アリシガ砂ヲ撒布シテ之ヲ防止スルコトヲ得ラル、ヲ以テ良好ノ成績ヲ得タリ又本年普通コールドニ鋪裝シタル路面ニ撒布シタルトキ如何ナル結果ヲ來スヤヲ試驗ノ爲メ桃山街及伏見街ノ二線ノ明石街ヨリ須磨街ニ至ル延長六十四間面積四百四十八坪ヲ上面ニ一回アスファルトヲ撒布シ比較研究スルコト、シタリ

四、下水道工事

イ、舊グラウンド新記通路下水管敷設工事 延長四十四間

請負人 星野順次郎(指名競争入札ニ依ル)

工事施工 六月二十八日着手 七月十九日竣工

工事概要 本工事ハ前記新設四間通路ニ内徑十二吋混泥土管ヲ敷設シ松島街及蓬萊街ノ下水渠ニ連絡ス

工 費 内 譯

請負附託額 銀四百九拾貳兩

蓬萊街(自榮街至常盤街)下水管敷設工事 延長二十九間

請負人 赤山今朝治(指名請負)

(189)

四月	二、三、七〇、三〇〇	一、七一八
五月	一、三、七三、八、七〇〇	一、七四二
六月	一、五、八一、四、一〇〇	一、七五三
七月	一、六、二九、七、五〇〇	一、七八四
八月	一、七、一九、七、一〇〇	一、八〇五
九月	一、五、九四、七、五〇〇	一、七九六
十月	一、四、三二、八、七〇〇	一、七六九
十一月	一、八、八三、一、七〇〇	不
十二月	計	明

事變ノ爲メ十一月分ハ點檢不能ニ付十二月分ト合シテ點檢ス

一、處理事項
二、工事施行
三、建築

一、建築許可申請ニ關スル件 八十四件
二、工事施行 延坪數 五十四坪
三、建築 延坪數 二十六坪

(190)

請負人 壹崎 豐(公入札ニ依ル)

工事施工 七月十八日着手 九月二十日竣工

工事概要

一、特別教室 在米ノ平家建物業ヲ取毀シ其ノ跡ニ、二階建ヲ新築シ階下ハ湯所、炊事場、食堂兼手工室トシ階上ハ圖書室裁縫室ノ特別教室一室ヲ設備シタリ、而シテ本工事ハ軒高地盤上二十六尺、基礎灰土打、木壁一、二階共煉瓦一枚半積、階下床泥濘土、階上木造板子板張、屋根木造瓦葺内部漆喰塗、各出入口唐戸建込ミ窓網戸共二重、外部化粧目地一部モルタル塗、内外見ヘ掛リベッキ塗仕上附帯工事トシテ給水、排水、照明設備ヲ併セテ施工シタリ

二、便所及便丁室 在米ノ便所及便丁室ノ全部ニ、二階ヲ増築シ、學生及職員便所、ボーイ便室ヲ設ケタリ、而シテ便所ハ自動水洗式、啓正式通風器ヲ各所ニ設ケ其ノ他ノ構造ハ特別教室ト全様ナリ

三、渡廊 本館ヨリ前肥特別教室並ニ便所ニ通ズル廊下ニシテ構造ハ木造、床板張リ、屋根片流シ、青灰塗リ木部ベッキ塗仕上ケタリ

請負附託額 工費内譯 銀六千五百弗

請負人 李 債 慶(隨意契約)

煉瓦造 三階建 一棟 延坪十四坪一合

(191)

請負附託額 銀一千八百弗

請負人 松井 五郎(指名競争入札ニ依ル)

工事施工 九月二十日着手 十月二十四日竣工

工事概要

一、秋山街汚物集捨所改築工事 煉瓦造 平家建 一棟 延坪 二十坪

二、特別教室新築 二階建 一棟 延坪數 五十四坪

三、便所及便丁室増築 二階建 一棟 延坪數 二十六坪

三、渡廊 下 本館ヨリ前肥特別教室並ニ便所ニ通ズル廊下ニシテ構造ハ木造、床板張リ、屋根片流シ、青灰塗リ木部ベッキ塗仕上ケタリ

請負附託額 工費内譯 銀六千五百弗

請負人 李 債 慶(隨意契約)

煉瓦造 三階建 一棟 延坪十四坪一合

(192)

請負附託額 銀八百二十八弗

請負人 山越 金太郎(公入札ニ依ル)

工事施工 十月六日着手 未竣工

工事概要

一、堤頭倉庫新築及増築工事 新築煉瓦造 平屋建 三棟 延坪 二百二十三坪

増築煉瓦造 平屋建 一棟 延坪 二十一坪

請負人 山越 金太郎(公入札ニ依ル)

工事施工 十月六日着手 未竣工

工事概要

一、新築工事ハ軒高地盤上十九尺五寸基礎灰土打、本壁煉瓦積、床泥濘土打ノ上防濕工事ヲナシ小屋木造六寸勾配、瓦葺、各所ニ天窗ヲ設ケ各出入口鉄扉建込ミ外部化粧目地仕上増築工事ハ在米ノ倉庫ニ準シ全部十一月三十日ヲ以テ竣工ノ豫定ナリシ處十一月八日事變突發ニ依リ小屋組架設迄工事出来形五割五分強ヲ以テ停頓シ又事變後ハ結末期ニ入りタルコト、テ中止ノ已ムナキニ至リタリ

(194)		(193)	
<p>請負附託額 銀一萬三千四百五十弗</p> <p>壁厚一枚半ナリシヲ一枚ニ變更 追加請負額 銀五百五十一弗二十仙</p> <p>右工費ノ内工事形額ノ八割銀六千二百二十二弗六十八仙ヲ支拂ヒタリ</p> <p>支那人事務所新築 棟瓦造平屋建 一棟 建坪 十一坪三合</p> <p>苦力宿舍新築 棟瓦造平屋建 一棟 建坪 八坪三合</p> <p>請負人 山越金太郎 (指名競争入札ニ依ル)</p> <p>工事施行 十月二十日着手 未竣工</p> <p>工事概要 支那人事務所新築工事ハ軒高地上十四尺、基礎安土打、本壁一枚半積、床鐵筋混凝土造、小屋木造片流レ葺カ、外部化粧目地仕上、一部モルタル塗トシ仕上苦力宿舎新築工事ハ軒高十二尺五寸、其他支那人事務所全斷ニテ該レモ十一月三十日ヲ以テ竣工豫定ノ處十一月八日事變突發ニ依リ本壁窓台迄ノ施上ヲ以テ停頓シ又事變後ハ結氷期ニ入りタリコト、テ中止ノ已ムナキニ至リタリ</p> <p>請負附託額 銀一千八百八十弗</p> <p>右工費ハ未ダ支拂ナキモノナリ</p>		<p>ト、埠頭公衆便所新築工事</p> <p>新築煉瓦造 平屋建 一棟 建坪 十坪</p> <p>請負人 山越金太郎 (指名競争入札ニ依ル)</p> <p>工事施行 十月二十二日着手 未竣工</p> <p>工事概要 本新築工事ハ軒高地上十四尺五寸、基礎安土打、本壁一枚半積、床鐵筋混凝土造、小屋木造支那瓦葺、外部化粧目地仕上ニシテ十一月三十日ヲ以テ竣工豫定ナリシ處十一月八日事變突發ニ依リ床板迄ノ施上ヲ以テ停頓シ又事變後ハ結氷期ニ入りタリコト、テ中止ノ已ムナキニ至リタリ</p> <p>請負附託額 銀一千二百二十五弗</p> <p>右工費ハ未ダ支拂ナキモノナリ</p> <p>チ、雜修繕工事</p> <p>本年度建築係ニ於テ施工シタル雜修繕工事ハ大小八十八件ニシテ内百弗以上ヲ要セシ工事左ノ如シ</p> <ul style="list-style-type: none"> 一、宿舍修繕 銀三百七十九弗 一、事務所勘定室修繕 銀一百四十弗 一、消防詰所修繕 銀一百八十一弗 一、第二分署壁修繕 銀一百四十弗 一、第二分署屋根修繕 銀一百八十弗 一、療病院各所修繕 銀一百八十弗 	

(196)		(195)	
<p>病名 赤痢</p> <p>患者數 三</p> <p>新患者數 三</p> <p>計 三</p> <p>治癒一死亡 三</p> <p>後遺 二</p> <p>治療日數 九二</p> <p>患者一人平均治療日數 三〇・六</p>		<p>病名 赤痢</p> <p>患者數 一八</p> <p>新患者數 一八</p> <p>計 一八</p> <p>治癒一死亡 一八</p> <p>後遺 二</p> <p>治療日數 七九六</p> <p>患者一人平均治療日數 三三・八</p>	
<p>病名 腸チフス</p> <p>患者數 一</p> <p>新患者數 一</p> <p>計 一</p> <p>治癒一死亡 一</p> <p>後遺 一</p> <p>治療日數 一九七</p> <p>患者一人平均治療日數 一九・五</p>		<p>病名 腸チフス</p> <p>患者數 二</p> <p>新患者數 二</p> <p>計 二</p> <p>治癒一死亡 二</p> <p>後遺 一</p> <p>治療日數 三三九</p> <p>患者一人平均治療日數 一六六・〇</p>	
<p>病名 天(假)痘</p> <p>患者數 一</p> <p>新患者數 一</p> <p>計 一</p> <p>治癒一死亡 一</p> <p>後遺 一</p> <p>治療日數 九六〇</p> <p>患者一人平均治療日數 九六〇</p>		<p>病名 天(假)痘</p> <p>患者數 二</p> <p>新患者數 二</p> <p>計 二</p> <p>治癒一死亡 二</p> <p>後遺 一</p> <p>治療日數 三三九</p> <p>患者一人平均治療日數 一六六・〇</p>	
<p>病名 猩紅熱</p> <p>患者數 一</p> <p>新患者數 一</p> <p>計 一</p> <p>治癒一死亡 一</p> <p>後遺 一</p> <p>治療日數 二七</p> <p>患者一人平均治療日數 二七</p>		<p>病名 猩紅熱</p> <p>患者數 一</p> <p>新患者數 一</p> <p>計 一</p> <p>治癒一死亡 一</p> <p>後遺 一</p> <p>治療日數 二七</p> <p>患者一人平均治療日數 二七</p>	
<p>病名 チフテリア</p> <p>患者數 一</p> <p>新患者數 一</p> <p>計 一</p> <p>治癒一死亡 一</p> <p>後遺 一</p> <p>治療日數 一九</p> <p>患者一人平均治療日數 一九</p>		<p>病名 チフテリア</p> <p>患者數 一</p> <p>新患者數 一</p> <p>計 一</p> <p>治癒一死亡 一</p> <p>後遺 一</p> <p>治療日數 一九</p> <p>患者一人平均治療日數 一九</p>	

(217)

銀ノ低廉ナルニヨリ更ニ交代者頻繁季節ノ變化時ニ於テ殊ニ然リ現狀ヲ維持スル爲ニ不尠憂慮セシ時亦多カリキ加フルニ十一月八日當地ニ物獲セシ車變ニ際シテハ人夫ヲ學ケテ軍ノ要求ニ應ジ一時保淨作業ハ中止スル状態ニ陥リ時局稍小康ヲ得作業ヲ開始スルニ當リ平年ニ於テモ夏季ハ作業滞滯スルニ殊ニ本年ハ十一月中殆んど完全ナル作業ヲ實施シ得サリシ爲ニ滞滯ニ阻滯ヲ重テ請負人供給ノ人夫中糞尿除去夫ハ事變ノ時四散逃走セシ爲ニ糞尿ヲ以テスルモ其數不足勝テシテ本年ニ及租界民ニ對シ満足ヲ與ヘ得サリシハ誠ニ遺憾トスル所ナリキ

昭和六年度ノ編成次ノ如シ

民團吏員五名(内書記一名ヲシテ主任トス)巡捕四名直備人夫二六名(苦力頭五、自動車運轉手九、同助手五、揚水所監視二、道路掃除夫五、下水掃除三八、内二〇ハ私設下水係馬夫一炊夫二使了一便所掃除夫一汚水汚物除去夫二但シ汚物除去夫ハ臨時夫トス)

請負人供給人夫定員二二名(糞尿除去夫四八、糞尿除去夫五六、自動車附人夫一六、海光寺兵營二)

但シ十一月中旬ヨリ四月中旬迄ハ二十四名ヲ増員

作業區域

第一區 福島街以北花園街以東
第二區 花園街以南花園街以東
第三區 花園街以西明石街以東
第四區 明石街以西吉街以東

作業區へ配當人員

(218)

區別	員苦力頭巡	捕道	路設下水	運轉手小	計糞	尿自	除夫	附夫	小	計合
一區	一	一	五	二	二二	二	一八	四	三	五六
二區	一	一	四	二	二四	二	二二	四	三	六二
三區	一	一	五	二	二四	二	二二	四	三	五七
四區	一	一	五	二	二二	二	一七	四	三	五六

右表中ニハ租界全數ニ耳ル作業夫ヲ除ク。四區中算用數字ハ重複
保淨作業別 一、道路撤水 二、道路掃除 三、公設下水掃除 四、私設下水掃除 五、汚水
掃濼 六、汚水汲取 七、糞尿除去 八、糞尿除去 九、除毒 十、清潔検査參與
其他一般保淨作業以下本年實施セシ作業ノ概要ヲ報告ス

二、道路撤水

一、所要人員揚水所ニ自動車運轉手及助手八
二、實施概要撤水ヲ要スル道路ノ延長六里四十八間
撤水ハ氣候氣温ノ關係ニヨリ各日ノ作業モ一定不變ニ實施セルハ前年同様ニシテマカダム
道及未完成道ニハ多量ニ完成道ニハ少量ニ新築道ノ道路ニハ全々撤水ヲ行ハス夏季ハ午前五時
ヨリ午後八時迄全力ヲ集メテ撤水ヲ施シ氣候ノ變化ニ從ヒ撤水孔ヲ埋メテ水量ヲ減セリ租界道
路ノ漸次完成スルニ伴ヒ保淨係各種作業モ亦容易ニ行ハレ殊ニ撤水ハ其ノ效顯著ナリ故ニ盛夏

(219)

砌ト雖モ撤水ニ關シ居留民ヨリノ撤水要求ノ聲モ漸減シタル感アリ然レトモ大和街筋ニ於テハ
惡道路ノ爲如何セン自動車ノ運行不能ノ爲此ノ附近ヨリノ撤水要求對シテハ意ニ測ラズ不
得シテ越年スルニ至レリ只晚秋ノ時運轉手ノ不注意ヨリシテタ暮ニ夏季同様ノ撤水ヲ行ヒ監督
者ヨリ注意ヲ與ヘタル事屢々ナリキ

本年撤水爲消費セシ揮發油次ノ如シ

一月四 二月一 三月一五 四月三五 五月四六 六月五五 七月六〇 八月五〇 九月四六
十月五二 十一月一〇 十二月ナシ 計三七七罐

此價額銀壹千九百四拾壹圓五拾五仙

三、道路掃除

一、作業狀態逐年租界道路ノ完成ニ伴ヒ道路掃除夫ヲ補充シ掃掃ニ努メ來レルモ如何ニモ我租界
ハ支那街ニ接シ居ル爲車馬ヨリ塵入セラル、泥土雜物夥シク一雨後ハ週日尙泥土ヲ撒入セラ
レテ作業夫ノ勞ニ比シ結果不可ナリシカハ更ニソリデット舗裝道ハ常ニ機ヲ見テ水洗ヒテ行
ヒタリ尙本夏來ハ拂曉時ノ掃除時間ヲ早メテ登校兒童ノ便ヲ計リ兼テ終日如何ナル時刻ニモ
一名ハ街路ニ殘留セシメテ馬糞其他雜物ノ掃除ニ任セシメテ積良好ナル成績ヲ見タリ冬季ニ入
リテ齶狀ニ復シ特種作業夫ハ前年同様四季ヲ通シ作業ニ從事セシメタリ

四、公設下水掃除及住吉街汚水溜濼

一、所要人員十八名

(220)

一、實施概要本年五月初旬公設下水水管濼濼用卷揚機二台(價格貳百八拾圓)ヲ新調シ今村原員監
督ノ下ニ五月八日ヨリ五月三十一日迄本機ヲ使用シ糞肥ノ人員ヲ以テ十分ナル作業ヲ實施ス從
來道路上ニ引キ廻シタル「ロウブ」モ一定ノ箇所ニ卷キ付ケラレ交通者ニ對シ作業夫ニ對シ其
ノ感シヲ一新セシメ之ニヨリテ人夫ヲ節減シ得タル等形無形ニ益シタル事大ナリ次テ六月六
日ヨリ租界内ニ設置シタル角噴霧ノ濼濼ニ着手ス本作業ハ暗渠内ニ人夫ヲ浸入セシメテ行フモ
ニ付キ萬全ノ注意ヲ拂ヒツ、六月十二日完了ス尙秋季ハ春季ノ例ニ準シ九月七日ヨリ二十
日迄實施セシメ本春來前記機械ニヨリ十分ナル濼濼ヲ行ヒ結果泥濘ナク打切り終了トス以上
ハ春秋二季ノ大掃除ニシテ此ノ以外ニハ雨水排水係ヲ置キ四月初旬ヨリ十月末迄防臭水ヲ雨水排水
ヲ進メ尙雨水排水係ニハ二名ノ雨水排水係ヲ置キ四月初旬ヨリ十月末迄防臭水ヲ雨水排水係
ニテ行ス

五、私設下水掃除及汚水汲取作業

一、實施概要各區五名宛配當シ概シ二回循環シ各戸ノ下水溜ヲ濼濼シ其ノ都度不通水ノ箇所ハ
各戸ヨリ申出ニヨリ内部ヨリ葛成ハ竹繩ヲ以テ濼濼シ殊ニ十月ノ候ヨリハ冬季結氷通水不良
ニ陥ル經驗上各所共下水溜及水管間ノ濼濼ヲ實施セリ夏季應々ニシテ下水溜濼濼不良ノ爲臭氣
上ルトノ抗議ヲ受ケ係員ヲ特派シ調査セシメタルニ數年後數年ヲ經テ下水溜ノ設備不良ニ因スル

(221)

六、廢 芥 收 去

作業要領定時入夫五〇名自動車附名冬季ハ廢芥石炭殻ノ漸増ヨリ二十四名迄ヲ漸増ノ約東ニテ前年通請負人ノ供給スル入夫ヲ以テ保障課員監督ノ下ニ夏ハ毎日午前五時冬季ハ午前七時半ヨリ着手シ各戸毎一回宛出ヲ終リテ其ノ日課終了トセ。逐次作業夫ノ交代ハ見タルモ前年ノ如ク一時ニ全員ノ交代ナカリシ爲ニ請負人夫トシテハ先ツ良好ナル作業ヲ續ケタリ殊ニ十一月當地ニ物産ノ事變ノ際本作業夫ハ從價ニ係員ノ指示ニ從ヒ軍力要スル作業ニ増援シ得タルハ欣幸トスル所ナリ然レニ請負人カ差出ス埋立地敷均シノ入夫時局後不足ヲ來シ租界内ヨリハ一時ニ多量ノ廢芥搬出セラレ敷地外ヲ若干埋立タルハ監督者トシテ誠ニ遺憾トスル所ナリ本年度廢芥收去ノ爲消費セシ揮發油及埋立面積次ノ如シ

揮發油 一月九六 二月九〇 三月七五 四月六〇 五月五八 六月五五 七月五八 八月五五 九月五五 十月五六 十一月四一 十二月八六
合計七八五罐 此價額銀四千四百貳拾七拾五仙
埋立地 總面積參千九拾壹坪五合(支那人所有地ヲ含ム)
昭和六年埋立面積五百貳坪

七、糞 尿 收 去

一、實施要領 本作業夫ハ請負人ノ供給スル入夫ヲ保障課員監督ノ下ニ明石街以西ノ地區ハ十

(222)

七名ノ入夫ヲ以テ拂曉ヨリ午前十時迄人力ヨリテ伏見街西端埋立地ニ搬出セシメ明石街以東ノ地區ハ之ヲ三區ニ分テ夏季ハ午後五時冬季ハ午後二時ヨリ伏見街東山街口街ノ汚物詰所ニ集積シ自動車ヨリ前記地點ヨリ租界外ニ搬送シ來リシモ租界ノ發展ニ伴ヒ伏見街汚物詰所ハ租界中間ノ重要地點トナリ本年九月二十日ヨリ該所ノ使用ヲ撤廢シ作業夫之カ爲六名増員ノ上秋山街詰所ニ集積スル事ニ改メタルモ該所ハ狹隘ノ爲作業上困難ヲ伴ヒ銀壹千六百參拾弗ヲ投シ家屋ノ改築ヲ始メ十月二十四日竣工十一月五日ヨリ新詰所ヲ使用セシ處構造宜クヲ得テ臭氣外部ニ漏レズ好結果ヲ修メタリ

糞尿收去ノ素質ニ就テハ前年報告セシ通シテ係員ノ努力一方ナラス殊ニ十一月八日天津事變勃發以來作業夫四散逃走シ小康ヲ得タル後歸順者少ナク完全ナル作業行ハレス殆ント糞尿ノ大部ハ下水溝ニ流下シテ保潔作業ヲ進メタリ十二月九日ヨリ從前ニ準シテ保潔實施セシ新來ノ入夫ニテ收去漏多ク加フルニ入夫不足ニテ作業不十分ニ付現場員ト連絡ヲ保持シ其程度各住者ヨリノ申出事項ヲ現場ニ傳ヘテ圓滑ナル作業ヲ實施スル事ニ努力セリ

八、除 雪 ニ 就 テ

昨冬來頻々トシテ降雪ニ遭ヒ昨五年度事務報告ノ時一月二十日以前ノ除雪ニ就テハ報告済ニ付爾後ノ分ニ關シ報告ス

一月二十二日夜半ヨリ降雪約二寸ヲ積リシモ臨時入夫ノ供給好都合ニ行ハレ一月二十六日迄ニ除雪完了セリ從業人員一、二四五人五分二月八日降雪々積一寸七分降雪後氣温上リ作業圓滑ニ行ハレ二月十一日ニハ除雪完了ス從業人員七七一七名

(223)

九、清潔法施行ニ就テ

衛生課主管ノ下ニ五月六日總領事館告示第九號民國公告第一八號區域日割ヨリ五月十一日ヨリ二十五日迄ノ間ニ全租界五、一三六戸ニ對シ春季清潔法ヲ施行ス本實施ニハ保障課員與テ參與シタル爲概況ヲ報告ス

租界民一般ノ衛生思想向上ヨリ春秋二季ニ行ハル、清潔法ハ逐年向上セラレ其ノ施設ニ於テモ漸次改良ヲ加ヘタリト雖モ當租界内住家中用便所ノ設置ナキモノ五六九戸設置下水道ヲ敷設セサル所三七六戸廢芥箱ヲ設置セサル者二一戸ト算スル時ハ稍苦心ニ堪ヘサルモノアリ然レニ租界ハ學力更ニ十二月二十二日早朝ヨリ降り出シタル雪ハ終日止マシテ約二寸ヲ積モレリ二十三日ヨリ全力ヲ集メテ除雪作業ニ從事中二十七日二十八日ノ兩日再三度ノ降雪ニ遭シ午ラ臨時作業夫ノ出揃ヒ前年ニ比シ減少被是作業日數延長シ九日間ニ及ブ本作業夫前出ノ如ク第一日ハ各街路ノ掃雪其ノ餘カヲ以テ搬出シ第二日ヨリ一部ハ自動車一部ハ人力ヨリテ白河及ウエズ運河々岸ニ運搬セシメタリ第三區ハ租界中間ノ爲人力ヨリ所積メテ少ナク他區ニ比シ作業進捗セズ依ツテ他區以上ニ自動車ヲ配當作業セシメタルモ時給増加部除津潤ニ遭シ自動車ヲ他ニ運行セシ爲相當多數ノ日子ヲ要シタリ本期間ノ除雪ニ使用ノ入夫延一、四八四名内直備入夫六九六臨時備入夫七八八運搬車ガツリン二〇〇總合計銀六九拾九拾五拾仙也トス

(224)

テ不況時代ナルモ水洗式便所昨年ヨリ四五五戸増加セルヲ見テ自他共ニ欣幸トスル所タリ本施行間左ニ掛クルカ如キ缺點ヲ認メ夫々十分ナル注意ヲ促シ置ケリ

一、支那人店舖ニ於テ表面石灰ヲ撒布シ熱心ニ清掃シタル如ク敷ヒ其ノ裏面及樓上等ニハ全々手ヲ盡サス姑息ナル手段ヲ用テリタル者

一、支那人店舖中水洗式便所ノ設置アルモノモ不備之ヲ物置ニ使用シ屋外ニ於テ用便ヲナス者

實施要領

保障課員二名巡捕署院ヨリ吏員一名巡捕二名警察署ヨリ警官三名以上ヲ以テ三班ニ編成各戸限ナク清潔法ノ實施狀況ヲ監視シ便所其他直接保潔淨作業ニ關係アルモノニ就テハ現況ノ許ス範圍内ニ於テ之ヲ要求シ且ツ不潔作業夫ノ狀態ヲ總キ監督トシ察スル所アリ

二、秋季清潔法モ亦前達ノ如キ願望ヲ以テ九月二十一日ヨリ開始シ第四區域(九月二十五日)マテ實施セシ處格モ九月十八日奉天ニ起リシ日支兵衝突ハ日ト共ニ重大化シ接讓ノ當地方モ感情惡化人心動搖支人共ニ清潔法ノ完全ヲ期セラレズ加フルニ時局ニ供フル爲警察官ノ派遣困難トナリ延期スルノ止ムナキニ至リシカ氣候寒天ニ向ヒ遂ニ本季ノ清潔法ハ中止スルニ至レリ

第六、埠 頭 部

一、白 河 狀 態

本年五月二十六日附ヲ以テ埠頭事務主任吏員ノ任命ヲ見給ルノ日本租界埠頭通航ヲ期待セシモ七月初旬ヨリ白河堤壩頓ニ惡化シ海河工程局ノ浚渫作業モ何等効ヲ奏セズ各船格下ト塘沽止メトナリ少數

ノ小型淺吃水船ヲ濶ク英佛領頭へ過航シタルノミニテ統計數ヲ外日本租界埠頭へ一隻モ汽船ノ點留ヲ見ザリシハ遺憾ナリ

一、天津入港船舶統計

本年中天津、塘沽及北大沽へ入港セル船舶數左ノ如シ

月別	天津	塘沽	北大沽	外埠	計
一月	三九	二八	二九	一〇	一〇六
二月	四一	二八	二九	一〇	一〇八
三月	四一	二八	二九	一〇	一〇八
四月	三〇	二八	二九	一〇	九七
五月	三三	二八	二九	一〇	一〇〇
六月	四四	二八	二九	一〇	一一一
七月	一三	二八	二九	一〇	八〇
八月	五五	二八	二九	一〇	一二二
九月	二二	二八	二九	一〇	八九
十月	一五	二八	二九	一〇	八二
計	三九八	二八〇	二九〇	一〇〇	一〇六八

(226)

(225)

三、民船禁船隻數統計

本年中日本租界埠頭ニ留置セル民船數次ノ如シ

種別	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	計
大型	一三	二二	一九	一八	一〇	九	八	九	五	二	二	二	一〇九
中型	一三	二二	一九	一八	一〇	九	八	九	五	二	二	二	一〇九
小型	一三	二二	一九	一八	一〇	九	八	九	五	二	二	二	一〇九
計	一三	二二	一九	一八	一〇	九	八	九	五	二	二	二	一〇九

十月六日ヨリ埠頭倉庫並ニ共同便所新築ニ着手セシモ任事中ハニテ事務變動發且ツ冬季ニ入りタル爲メ本年ハ工事中止ノ止ムナキニ至レリ

四、雜件

昭和六年民團事務報告書

(附)

民團財產明細書

(昭和六年十二月末日現在)

一、銀壹百貳拾參萬參千九百貳拾四兩八拾四仙也

名稱	面積	現在價格(時價)	摘要
埠頭用地	二六〇〇	二九〇〇〇	
埠頭用地	四九〇	八〇〇〇	
埠頭用地	四〇〇	三六〇〇	
山口街柳筒所	一〇〇〇	九〇〇〇	
汚物集捨所	三三〇〇	三三〇〇〇	
下水槽池	九〇七五	九〇七五〇	
共立學校	五五〇七	五五〇七〇	
保潔事務所	九六三〇	九六三〇〇	
計	九六三〇	九六三〇〇	

(228)

(227)

土地(道路及胡同)之部(但道路及胡同ハ)

名稱	面積	價格	備考
官有地地下ケノ内道路	一、〇〇六	一〇〇六〇	
トナリタルモノ	五、八〇〇	五八〇〇〇	
低買買收土地道路	三、二九九	三二九九〇	
寄附道路	四、三三三	四三三三〇	
右ヲ除ク其ノ他ノ道路	四、三三三	四三三三〇	
胡同面積	二、七七一	二七七一〇	
計	二七、七七一	二七七七一〇	

(229)

正門一式	一、六九九、五〇
暖房裝置一式	五、一一四、八四
下水道敷設一式	六八九、八八
計	五九、五〇三、五四
埠頭事務所	五、〇〇〇、〇〇
埠頭倉庫	五、〇〇〇、〇〇
埠頭松島街宿舍及附屬建物	四、二五〇、〇〇
埠頭浪速街宿舍	二、五〇〇、〇〇
計	一六、七五〇、〇〇
住吉街御前所上家及附屬家排水管共	一〇、一七〇、〇〇
橋立街御前所	四、三八〇、〇〇
ローラー置場	四、一五〇、五〇
苦力收容所	七五〇、〇〇
秋山街伏見街材料置場	一、〇二六、二五
露井御前所一式	三四二、六三、九六
計	五四、七四〇、七一
消防屯所器具置場	四、四八〇、〇〇
消防隊演習台及ホース洗場	二四〇、〇〇
消防隊機械器具一式	一九七、三〇
計	五、一七七、三〇

(以上埠頭ノ部)
(以上土木ノ部)

(230)

海光寺水唧筒所	四、九二五、三〇
苦力收容所及自動車格納庫其他	一、〇〇〇、〇〇
隣寸會社ヨリ購入建物	一、八八〇、二二
汚物集捨所	二、五八四、二五
計	三、五〇〇、〇〇
一、銀拾貳萬七千五百七拾四弗九拾壹仙也	一八、九六四、四七
計	(以上衛生保淨ノ部)

(以上準備ノ部)

價	格	延	摘	要
七、〇四七、〇二	十吋	一、九六八、〇〇		
五、七八六、三〇	八吋	二、四四八、〇〇		
二、七三五、六六	六吋	七、一五三、〇〇		
七、七〇八、〇三	四吋	五四、一八一、〇六		
七、三三〇、〇〇	三吋	二、六三〇、〇〇		
一、六九〇、九一	二吋	三、六一六、〇〇		
七、四三三、〇〇	一時半	一、五四〇、〇〇		

(上水道)

(231)

計	七、一四七、二四分ノ三時
一、銀參拾八萬九千四百六拾五弗八拾七仙也	一四、五八六、九五
計	二二七、五七四、九一
防火檢増設十個所改造六個所	七、一四七、二四分ノ三時

價	格	延	摘	要
六、六九〇、〇二	街名	三〇八、八八		
一五、六四三、四〇	扶桑街	一四三、六二		
四、〇四五、〇六	橋立街	二七八、九七		
七、五七七、五九	福島街	三八六、六〇		
六七、〇四七、一六	松島街	九四八、三四		
六、六六一、二六	芙蓉街	三〇四、〇〇		
五、六三八、五三	花園街	二二六、〇〇		
六、六一四、一八	榮街	三一五、五〇		

(下水道)

(232)

橋街	六、〇五五、四八
春日街	八、〇〇五、一一
吉野街	三、〇六九、三六
明石街	七、七六四、七〇
桃山街	一四、二〇一、五七
興津街	二二、一三八、八一
淡路街	七、六六二、九二
旭街	一八、〇八一、七四
宮島街	七六、一九九、五二
曙街	三、二四九、九八
吾妻街	二、〇七八、七三
常盤街	四、二二八、三九
浪速街	一〇、二五一、八六
蓬萊街	一〇、三四八、〇〇
須磨街	八、七〇三、三九

價	格	延	摘	要
六、〇五五、四八	橋街	三二二、八〇		
八、〇〇五、一一	春日街	四三四、五〇		
三、〇六九、三六	吉野街	一八四、〇〇		
七、七六四、七〇	明石街	四〇二、八六		
一四、二〇一、五七	桃山街	二七〇、八〇		
二二、一三八、八一	興津街	一九四、六〇		
七、六六二、九二	淡路街	五二四、五〇		
一八、〇八一、七四	旭街	九八八、五〇		
七六、一九九、五二	宮島街	八六三、〇八		
三、二四九、九八	曙街	二〇六、九〇		
二、〇七八、七三	吾妻街	一二七、四五		
四、二二八、三九	常盤街	一九四、三五		
一〇、二五一、八六	浪速街	六六九、〇〇		
一〇、三四八、〇〇	蓬萊街	七三七、〇〇		
八、七〇三、三九	須磨街	四九二、一〇		

(234)

(233)

科目	昭和五年十二月現在		昭和六年年中購入		昭和六年十二月現在	
	數量	價格	數量	價格	數量	價格
住吉街	二二、九一三・七二				一〇、六〇〇	
小松街	二、四八五・〇九				一九、〇五〇	
伏見街	一〇、三八七・九五				六七、六五〇	
石山街	四、七五九・六八				二二、二四〇	
香取街	二、〇四九・三〇				一六、九〇〇	
加茂街	一、六八二・六〇				七八〇〇	
三里里	一、〇六七・五八				四五五〇	
三島街	五、三八八・二八				二五、一九〇	
低賣土地	六、五五五・四〇				二八、六二五	
住宅地城	七、二二九・九六				三三、六〇〇	
工場地城	一、九八九・六四				九七、四二二	
胡關帝廟	三、八九四・六八七				一一、九六二・八二	
計	三、八九四・六八七				一一、九六二・八二	
一、銀貳拾萬五千四百八拾八兩五拾參仙也						
內						
事務所備品	一、五三三・〇〇				一、二六九	
會議室備品	四				四、三八六	
義勇隊備品	三、五六一・七六				一、七〇〇	
警備用品	四、七〇七・七				三、六〇〇	
巡捕貸與品	一、〇〇〇・〇〇				一、〇〇〇	
消防器具	一、〇〇〇・〇〇				一、〇〇〇	
土木器具	六、四〇〇・〇〇				六、四〇〇	
水道器具	一、〇〇〇・〇〇				一、〇〇〇	
衛生器具	一、〇〇〇・〇〇				一、〇〇〇	
保淨器具	一、〇〇〇・〇〇				一、〇〇〇	
合計	一〇、〇〇〇・〇〇				一〇、〇〇〇	
一、銀拾萬壹千壹百九拾七兩七拾五仙也						
內						
有價證券						
銀行預金						
及現金						

(235)

一、銀四萬八千零壹兩七拾七仙也	有價證券(天津製冰冷蔵株式會社株式貳千株銀四萬弗及濟安自來水公司株五拾五兩銀五千五百兩ノ換算額)
一、銀壹萬壹千八百八拾五兩拾參仙也	天津銀行預入金
一、銀四萬壹千壹百七拾八兩五拾五仙也	正金銀行預入金
一、銀壹百參拾貳兩九拾仙也	現金
合計 銀貳百貳拾參萬貳千五百參拾五兩九拾貳仙也	
負債ノ部	
一、銀五拾五萬弗也	埠頭築造ノ爲正金銀行ヨリ借入金
一、金五拾萬圓也	外務省ヨリ借入金
合計 銀五拾五萬弗也	
一、金五拾萬圓也	

